

1. 件名：「志賀原子力発電所 2 号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング (46)」

2. 日時：令和 3 年 2 月 1 7 日 (水) 1 3 時 3 0 分～1 5 時 4 0 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者 (※：テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田執行役員 他 9 名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 敷地近傍の断層の評価
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 1 (ボーリング柱状図)
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 2 (ボーリングコア写真)
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 3 (BHTV)
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 4 (音波探査記録)
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 適合性審査コメントリスト【敷地周辺の地質・地質構造】

| 時間      | 自動文字起こし結果  |
|---------|--|
| 0:00:04 | 原子力規制庁の谷です。それでは時間になりましたので、   |
| 0:00:10 | 志賀原子力発電所 2 号炉敷地周辺の地質地質構造についてということで、敷地近傍の断層の評価ということでヒアリングを行います。資料のほう、説明を置く北陸電力お願いいたします。 |
| 0:00:26 | はい、北陸電力の藤田です。私のほうから資料の構成と概要を 5 分程度で御説明したいと思います。説明は全体で 40、40 分弱を予定しております。よろしく申し上げます。    |
| 0:00:39 | まず資料なんですけども 4 点ございます。  |
| 0:00:42 | 1 点目が本資料で説明をのもの 2 点目が補足資料、   |
| 0:00:47 | 3 点目があのボーリング調査等のデータ集、ちょっとこれ分冊になっておりますけども、あと 4 点目があの敷地周辺に関するコメント一覧。                     |
| 0:00:56 | となっております。  |
| 0:00:58 | よろしいでしょうか。   |
| 0:01:01 | それでは本日の説明の概要に入ります。   |
| 0:01:04 | 本資料の 1 ページ目をお願いいたします。  |
| 0:01:08 | 敷地周辺の地質地質構造につきましては、概要及び能登半島の地殻変動に関する検討結果について、2011 年に、第 531 回審査会合において説明を行っております。        |
| 0:01:23 | 本日は、敷地に分布する断層評価の概要及び敷地近傍の 4 断層、具体的には福浦というようながん、  |
| 0:01:32 | 英語版島沖兜容器の評価について、これらの断層に関する第 531 回会合でのコメントに対する回答も含めて説明いたします。                            |
| 0:01:43 | なおと 2 が上がらないとにつきましては、新たに拡充した調査データに基づき、今回は将来活動する可能性のある断層等に評価を変更してございます。                 |
| 0:01:53 | 表の下の 2 行ですね白抜きで記載したものなんですけども、日本断層以外のところとですね、能登半島の地殻変動につきましては次回以降御説明したいと思っております。        |
| 0:02:04 | 2 ページをお願いいたします。  |
| 0:02:07 | 敷地周辺の  |
| 0:02:11 | 将来活動する可能性のある断層の分布を示しております。   |
| 0:02:15 | 本日説明する(1)から(4)の本近傍 4 断層は黄色に着色してございます。  |
| 0:02:21 | 次回以降に説明する括弧 5 の奄美佐々木沖断層たいから(26)一糸魚川静岡構造的性までの断層につきましては、                                 |

|         |  |
|---------|--|
| 0:02:31 | 敷地への影響が大きい断層について、時開所詳細に御説明したいと思っております。   |
| 0:02:37 | 3 ページもお願いいたします。  |
| 0:02:40 | こちらが評価を見直したときに女川などに関する追加調査結果の概要です。   |
| 0:02:45 | 手際長い断層については、前回の説明では、位置図の緑の段丘面、   |
| 0:02:51 | 具体的には左側の段丘分布図の四角枠に黒字で記載した。   |
| 0:02:57 | 断層北方に広く分布する中位段丘 I 面と、  |
| 0:03:01 | その右の図面拡大地図の、   |
| 0:03:04 | 断層南方の東小野付近の小規模な中位段丘 I 面の分布高度を用いて評価を行っておりました。   |
| 0:03:12 | また前回の説明では、左側の図面、段丘面分布図の右下に至った四角枠に黒字で記載した断層南西部の地形面調査の結果、明確な段丘面は認められないことを御説明しています。                                     |
| 0:03:27 | 今回、これまでの審議をヒップ前より確実な評価を行うため、断層南方の段丘面調査等の追加追加の調査を実施しました。  |
| 0:03:37 | 具体的に図面に赤字で記載した高位段丘面調査やボーリング調査、反射法地震探査となります。  |
| 0:03:46 | ボーリング調査反射法地震探査では断層に対応する破碎部や構造確認したものの、断層南方に活動性評価に用いることができる明確な段丘面が認められなかったことから、都議が長い断層を将来活動する可能性のある断層等として評価を見直してございます。 |
| 0:04:05 | また四角くの蓋丸めA海域において改定重力探査を追加実施した結果とアナウンス断層から兜岩沖断層に連続する構造は認められないことを確認しております。   |
| 0:04:19 | 16 等の結果につきましては 4 ページお願いいたします。  |
| 0:04:22 | 前回の説明では、図面の右側の四角枠の黒字で記載した海上音波探査の結果から音響基盤技術そういう線に断層は認められないことから、次が長い断層は海域には連続しないと説明しておりました。                            |
| 0:04:38 | 今回音波探査に加え、図の中で赤で記載した 275 ヶ所で改定重力探査を追加で実施し、   |
| 0:04:45 | 四角左側の四角枠に赤字で記載した通り、  |
| 0:04:50 | 当然そこに低重力域が分布しているといふと穴が断層から兜岩沖断層に連続する構造は認められないことを確認し、説明性を向上いたしました。  |
| 0:05:01 | 5 ページ、こちらはコメントの一覧で今回敷地周辺のみをピックアップしました。番号の方、一番からつけ直してございます。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:05:11 | 6 ページはコメント回答の概要で該当ページで詳細に御説明します。   |
| 0:05:17 | 7 ページは目次です。本日は黒字の部分を御説明したいと思います。   |
| 0:05:24 | 次回以降グレーの部分を御説明いたします。   |
| 0:05:28 | 以上が概要の説明となります。   |
| 0:05:30 | 9 ページ以降は担当のキムラのほうから説明いたします。  |
| 0:05:35 | はい、北陸電力の木村です。それでは 9 ページのほうから資料の内容について御説明します。   |
| 0:05:42 | まず一章の敷地周辺の地質地質構造になりまして、ここでは敷地周辺の陸域海域と敷地近傍の地形、地質地質構造の概要を示しております。                                      |
| 0:05:56 | この一章の内容につきましては、第 531 回審査会合資料とほぼ同じ内容となっております。文言や構成等を一部修正した箇所につきましては、ページの右肩のほうに第 531 回審査会合資料一部修正というふうに |
| 0:06:14 | 四角で記載しております。   |
| 0:06:17 | 前回の資料からデータなどを一部追加した箇所についてご説明します。   |
| 0:06:23 | まず 17 ページをご覧ください。  |
| 0:06:28 | 17 ページ能登半島周辺の分以上とにつきまして、今回、新たな文献を追加しております。   |
| 0:06:36 | また 18 ページの当社作成のブーゲー異常図で今回新たに実施した海底重力探査及びトリガながん断層周辺の陸域のデータを追加して、合わせて、右のほうに水平一次微分増追加しております。            |
| 0:06:53 | 下の箱で記載している。この図での結論につきましては特に変更はありません。   |
| 0:07:00 | 次に 31 ページをご覧ください。  |
| 0:07:06 | 31 ページ、敷地近傍の段丘面区分図ですが、ここで右下の凡例の下のほうに少し文字で記載しておりますが、高位段丘 I 面につきましては 1mm と I b 面に細区分されるというふうに判読しております。 |
| 0:07:25 | これまで敷地内では再区分して表示しておりましたが、今回この敷地近傍においても、区分可能な箇所は再区分して表示しております。  |
| 0:07:36 | 次に、35 ページをご覧ください。  |
| 0:07:40 | 35 ページに敷地近傍のブーゲー異常図になりますが、ここで赤点で示した改定重力探査等のデータを今回追加して図を更新しております。                                     |
| 0:07:55 | 続きまして 37 ページからは 2 章になりまして、38 ページ以降は敷地周辺の活断層評価の全体の概要になります。  |
| 0:08:07 | 39 ページは敷地周辺の活断層評価の結果になりまして、将来活動する可能性のある断層等として評価した断層の分布図と一覧表を示しております。                                 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:08:21 | 40 ページに陸域の活断層評価のフローを示しております。  |
| 0:08:26 | 敷地から半径 30km 範囲では、文献調査及び車種空中写真判読から抽出した断層等について、詳細調査、評価を行いました。   |
| 0:08:39 | 半径 30km 以遠では、   |
| 0:08:42 | 文献調査により得ハグした断層の中から敷地への影響は大きな断層について詳細調査評価を行いました。   |
| 0:08:51 | 41 ページが半径 30km 範囲   |
| 0:08:55 | 42 ページが半径 30km 以遠の陸域の活断層評価結果で、  |
| 0:09:03 | 四十三、四十四 ページの文献調査で 4546 ページの空中写真判読より抽出した断層等について詳細調査を行った結果、4142 ページで赤字で示す断層は後期更新世以降の活動が否定できないと評価しました。 |
| 0:09:22 | ここで 42 ページのほうをご覧ください。   |
| 0:09:27 | 42 ページの右の評価一覧表で 38 番の魚津断層対及び能登半島等放棄 39 番の内組断層 41 番の未ボロ断層につきましては、長さの数字のほうに米印を記載しておりますが、              |
| 0:09:46 | これらについては、申請以降、新たな知見を踏まえて評価の長さを見直しております。   |
| 0:09:54 | 続きまして 47 ページ。   |
| 0:09:58 | ですけれども、47 ページは海域の活断層評価のフローを陸域と同様に示しております。   |
| 0:10:06 | 48 ページが海域の活断層評価結果で 49 から 51 ページの文献調査と 5253 ページの海上音波探査の結果より得抽出した断層等について、詳細調査を行った結果、                  |
| 0:10:22 | 赤字で示す断層が後期更新世以降の活動が否定できないと評価しました。   |
| 0:10:29 | 続きまして 54 ページからは、敷地近傍の活断層評価結果になります。  |
| 0:10:35 | 56 ページをご覧ください。  |
| 0:10:39 | 福浦断層の評価結果になります。   |
| 0:10:42 | 福浦断層は敷地から約 1 キロメートル東方に文献により示された断層で、地形調査により文献とほぼ同じ位置にリニアメント変位地形が判読されます。                              |
| 0:10:54 | 露頭調査の結果を敦賀ダムがある周辺の調査において、下末吉期を経て、赤色土壌化した地層への断層活動の影響は否定できないということから福浦断層は後期更新世以降の活動が否定できないと評価しました。     |
| 0:11:11 | またリニアメント変動地形の北方と南方における調査の結果、福浦断層に対応する断層は認められないことになってるから、リニアメント変動知恵が判読さ                              |

|         |   |
|---------|---|
|         | れるへ約 2.7km区間を将来活動する可能性のある断層等として強化しました。  |
| 0:11:31 | Ricouーページが、詳細のデータになります。   |
| 0:11:35 | 57 ページが文献調査結果、58 ページが地形調査結果になりまして福浦断層の北部は、東側低下の堤外や直線上の谷などで南部は緩く弯曲するタニ等からなる、                     |
| 0:11:51 | リニアメント変動地形を判読しました。  |
| 0:11:54 | 59 ページのまるで囲ったところで直線チームの崖地形が途絶えているということから、ここリニアメント変動地形の北端としておりまして、60 ページのまるで囲ったところで、ここに地形が       |
| 0:12:11 | 途絶えるということから、ここを南端として評価しております。   |
| 0:12:17 | 61 ページは、活動性に関する調査位置図になりまして、断層北部に位置する受けて北方周辺と断層南部に位置する大坪がんだム右岸周辺において、調査を行いました。                   |
| 0:12:33 | 62 ページは受けて北方周辺の露頭調査結果です。  |
| 0:12:38 | リニアメント変動地形とほぼ一致する位置に当たる受けて北方尾根の露頭において、  |
| 0:12:44 | 写真スケッチに赤矢印で示した箇所を確認しました。  |
| 0:12:51 | 断層の下盤側のシュート質粘土層 2a断層活動による影響をおよぼしているということを確認しましたが、この地層の年代値を特定することができず、断層の最新活動時期を特定することはできませんでした。 |
| 0:13:08 | 63 ページは受けて、つぼ尾根の露頭で確認した断層付近で実施したボーリング調査の結果でA断面図と、コア写真を示しております。                                  |
| 0:13:20 | ボーリング調査の結果、右下のコア写真のような福浦断層に対応する破砕部を確認しました。  |
| 0:13:28 | 64 ページは大坪がんだム右岸周辺の調査結果になります。  |
| 0:13:33 | 6566 ページの北道路のり面表土はぎ調査、6768 ページの南道路製番表土はぎ調査により断層を確認しまして、これらの 1 の間に分布する高位段丘 I b面において、             |
| 0:13:50 | 実施したトレンチ調査の結果を 69 ページ以降に示しております。  |
| 0:13:56 | 70 ページにトレンチの北壁面のスケッチと写真を示しておりまして、赤字赤矢印の位置にだ岩盤を西側に隆起させる形状示すA断層が確認されました。                          |
| 0:14:10 | 断層ががんばん上限を約 40cm変位させ、   |
| 0:14:15 | 砂礫層と砂層中まで認められ、その上方延長付近の青色で示した絵地層海食粘土層の下部には変形が認められます。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:14:27 | その上位に分布する接種接触同条の規定の形状が界の地層の変形の形状と調和的な形状を示すことから、接触度町にも断層活動の影響は否定できないと評価しました。                           |
| 0:14:43 | 次の 71 ページは薄片観察の結果で複合面構造から西側隆起の逆断層センスが判読されます。  |
| 0:14:51 | 72 ページの火山灰分析遊離酸化鉄分析の結果から会釈赤色土壌は下末吉期を経た地層であるというふう判断され、この地層に断層活動の影響は否定できないことから、福浦断層は、                   |
| 0:15:07 | 後期更新世以降の活動が否定できないと評価しました。   |
| 0:15:11 | 74 ページ以降はつけ北端に関する調査結果になりまして、75 ページの県道沿いの露頭調査と、76 ページ以降のその北方の仮称で表土はぎ調査を行った結果のルートマップAからDというものを示しておりますが、 |
| 0:15:30 | 福浦断層に対応する断層は認められないことを確認しております。  |
| 0:15:37 | それから 80 ページ以降は福浦断層南端に関する調査結果で 81 ページの表土はぎ調査、82 ページのボーリング調査の結果、福浦断層に対応する断層は認められず、さらに南方において、            |
| 0:15:53 | 83 ページの中位段丘 I 面中で旧汀線高度調査においてもF福浦断層による影響は認められないということを確認しました。   |
| 0:16:04 | 福浦断層端部に関するこれらの表土はぎ調査前線の写真と絵ボーリングデータ等につきましては、補足資料の 2.2-1 のほうに添付しております。                                 |
| 0:16:17 | また 84 ページは反射法地震探査を実施したところの位置図と 85 ページ以降に、その結果を示しております、リニアメント変動地形が判読された位置付近において、86 ページの                |
| 0:16:35 | 下の図の黒破線で示すように不明瞭ながら広角で西傾斜する反射面の不連続が認められまして、これを福浦断層と判断しました。  |
| 0:16:48 | 88 ページは重力異常との関係になりますが、福浦断層に対応する南北方向の重力異常急変部は認められませんでした。   |
| 0:16:58 | 1 錠が福浦断層の評価になります。   |
| 0:17:01 | 続きまして、90 ページをご覧ください。  |
| 0:17:05 | 岩永断層の評価結果になります。   |
| 0:17:09 | トリガながら断層は敷地から約 9km、ほぼ一方に文献により示された断層でして、地形調査により得文献とほぼ同じ位置にリニアメント変動地形を判読しました。                           |
| 0:17:23 | 今回新たに実施したボーリング調査の結果と岩永断層に対応する破碎部が認められました。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:17:31 | この断層を挟んで北方には段丘面が広く分布していますが南方には活動性評価に用いることができる明確な段丘面が認められないということから、                     |
| 0:17:43 | トリガながら断層は後期更新世以降の活動が否定できないと評価をしました。  |
| 0:17:50 | また今回新たに実施した反射法地震探査の結果でリニアメント変動地形やボーリング調査結果と整合する南傾斜の逆断層の構造は認められました。                     |
| 0:18:01 | さらに重力探査の結果からもリニアメント変動地形とほぼ対応する重力異常急変部が認められました。   |
| 0:18:09 | 以上のことから、リニアメント変動地形が判読される約 6km 区間に加え直線的な重力異常急変部が認められる区間でさらに南西法の海上音波探査で断層は認められないことを確認した。 |
| 0:18:25 | A地点まで、計約 9.0km 区間を将来活動する可能性のある断層等として評価しました。  |
| 0:18:35 | 以降のページが詳細データになります。   |
| 0:18:38 | 91 ページが文献調査、92 ページが地形調査で傾斜変換部急崖から等からなるリニアメント変動地形を判読しました。                               |
| 0:18:50 | 93 ページが活動性に関する調査位置図になりまして、コメントNo.4 に対応したページとなっております。                                   |
| 0:19:00 | 93 ページの右の拡大地図でリニアメント変動地形を日本判読した地点において、トレンチ調査でボーリング調査を実施しました。                           |
| 0:19:11 | 次の 94 ページが、そのトレンチ調査結果になります。  |
| 0:19:16 | 山地側のCランクのリニアメント変動地形を横断してトレンチ調査を実施した結果、断層は認められませんでした。                                   |
| 0:19:26 | 次の 95 ページボーリング調査結果になります。   |
| 0:19:29 | 平和側のDランクのリニアメント変動地形について、ボーリング調査を実施した結果、左下の写真に示す都議は長い断層に対応する破碎部を確認しました。                 |
| 0:19:42 | 96 ページのコア観察、薄片観察の結果複合面構造から消えなく断層線様へ判読されました。  |
| 0:19:52 | 97 ページをご覧ください。   |
| 0:19:55 | ここからは、地形面に関するコメントのNo.3 に対応したページとなっております。   |
| 0:20:02 | トリガなんかの断層の活動性について、審査会合でのコメントを踏まえて、段丘面の高度分布を用いた評価を行うために、周辺の段丘面調査を行いました。                 |
| 0:20:15 | 文献によれば、断層の南方にベンツ分布する中位段丘面、高位段丘面が断層の北方に比べて、隆起しているというふうにされております。                         |



|         |  |
|---------|--|
| 0:20:27 | 中位段丘 I 面については、地形調査の結果、断層の北方では、広く分布している一方、断層の南方では右の拡大地図で楕円で囲ったところの志賀塩見の付近という地点に小規模に分布しております。              |
| 0:20:45 | 高位段丘面についても、断層の北方には広く分布しているものの、断層の南方には、こういう段丘 I 面は認められず、高位段丘 2002 年 3 面としていた地形面は表層に不正差損は分布するということを確認したので、 |
| 0:21:02 | これらの地形面は補佐級であると判断しました。   |
| 0:21:07 | またこういう段丘 4 名以上の段丘面については、解析が著しく段丘面区分の確実性にかけております。   |
| 0:21:18 | さらに  |
| 0:21:19 | 断層南西ほうには小砂丘や工期扇状地面が分布しておりまして中位段丘面は認められません。   |
| 0:21:27 | 以上より、断層北方には段丘面が広く分布していますが、断層南方には、活動性評価に用いることができている明確な段丘面が認められないと認められなかったことから、こういう都議ながら何ながら断層は後期更新世以降の    |
| 0:21:46 | 活動が否定できないと評価しました。  |
| 0:21:50 | 次の 98 ページは高位段丘面での調査結果に基づき段丘面区分を見直した結果を示しております。   |
| 0:22:00 | 来 10900 ページは、断層南西法の地形面調査結果で来先を構成する地層は 99 ページのサイト位置に 100 ページの最後の 678 の柱状図で示すように、                          |
| 0:22:16 | 大半は無層理で淘汰のよい一様な不正砂層から成るということを確認しており、この砂層中に MIS5e 以降の年代を示す SK や K-Tz の降灰層準が認められると。                        |
| 0:22:31 | 購買層序が含まれるということから、中位段丘面とは異なることが示す示しております。   |
| 0:22:40 | また工期扇状地の構成層はサイト 34 号の柱状図で示すように、摺動分を含む淘汰の悪い礫層や生徒質砂層からなり、  |
| 0:22:53 | 露頭において、陸から海への一報 1 方向の抗力を示す堆積構造が認められるということから、河川性の堆積物であるということを確認しております。                                    |
| 0:23:05 | 予定これらの地形面は中位段丘面ではないと評価しております。  |
| 0:23:11 | なおこれらの地質調査データの省庁再編につきましては、補足資料の 2.2-2 のほうに添付しております。  |
| 0:23:21 | 続きまして 101 ページは、反射法地震探査の位置図で 102 ページ以降に、その結果をつけておりまして、103 ページの下の図の解釈線入りの図で示すように、リニアメント変動地形が判読された 1、       |

|         |   |
|---------|---|
| 0:23:37 | 及びのボーリング調査で断層を確認した位置に南に約 60° で傾斜する逆断層は推定されます。   |
| 0:23:47 | 204 ページのトモグラフィ速度分布からも、断層を挟んで速度構造が変化する状況が認められます。   |
| 0:23:55 | 105 ページが重力異常との関係について、コメントのNo.5 に対応したページになりますが、  |
| 0:24:03 | 真ん中のブーゲー異常図、右の水平一次微分図によれば、リニアメント変動地形は重力異常急変部にほぼ対応しておりまして、右の図で緑色の線で示す鉛直一次微分値が 0 のコンター線は、   |
| 0:24:19 | リニアメント変動地形沿いにへ直線的に認められると。   |
| 0:24:23 | 直線的に認められるものの、北東側と南西側に屈曲しておりまして、   |
| 0:24:30 | 北東側と南西側で屈曲して連続性が途絶えているということを確認しております。   |
| 0:24:36 | 106 ページは重力購買店する解析で 107 ページは、二次元たる兄方解石になりますが、これらの結果、岩永断層の重力異常から推定される地下構造は反射法地震探査で得られた傾斜角と、 |
| 0:24:53 | 整合的であることを確認しております。  |
| 0:24:57 | 108 ページは、   |
| 0:24:58 | 南西法規の海上音波探査の結果で、  |
| 0:25:02 | 2 孔がん断層の南西方延長において、いずれも地層にも、断層は推定できるような変位変形は認められません。                                       |
| 0:25:12 | 109 ページが、以上のまとめとなっております、岩永の断層の評価長さについては直線的な重力異常の急変部が認められるか、すなわち右の                         |
| 0:25:25 | 右の図で、鉛直一次微分値が 0 の緑色のコンター線が直線的に認められる区間に加え、海上音波探査記録で断層は認められなかった位置までの約 9.0 km を評価しました。       |
| 0:25:42 | 以上が後に穴が断層の評価になります。  |
| 0:25:46 | 続きまして 112 ページをご覧ください。   |
| 0:25:51 | 5 番島沖断層の評価結果になります。  |
| 0:25:55 | 5 番に沖断層は敷地の北西ほうに位置しておりまして、  |
| 0:25:59 | 海上音波探査記録において、そうと AB 湾郵送には変位変形が認められないものの、  |
| 0:26:07 | AB 湾 N 層基底を含む、それより下位の地層に南落ちの撓みが認められます。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:26:14 | Bは郵送は後期更新世の地層に対応すると考えられるものの、その年代値を明確に特定することができず、下位のBはN層に変位変形の可能性が否定できないということから、5 番島沖断層は後期更新し、   |
| 0:26:30 | 後期更新世以降の活動は否定できないと評価しました。   |
| 0:26:35 | よって、断層が認められないことを確認した測線までの約 4.2km区間を将来活動する可能性のある断層等と評価評価しました。                                    |
| 0:26:47 | 以降のページが詳細データとなっております、113 ページが文献調査の結果ですが、文献には 5 番島沖断層に立つと相当する断層等は示されておられません。                     |
| 0:27:00 | 214 ページは音響測深による地形調査結果で断層と周辺の海底地形は平坦であり、変動地形は認められません。  |
| 0:27:10 | 115 から 117 ページは、地層の南落ちの撓みが認められることから、断層の断層が推定される測線の記録、   |
| 0:27:21 | 118 から 121 ページは北東担当南西たんで、断層が認められないことを確認したA測線の記録を示しております。  |
| 0:27:33 | 122 ページは重力異常との関係ですが、英語版島沖断層に対応する重力異常急変部は認められません。  |
| 0:27:42 | 続きまして 124 ページをご覧ください。   |
| 0:27:46 | 兜岩沖断層の評価結果になります。  |
| 0:27:50 | 兜岩沖断層は、   |
| 0:27:52 | だ敷地の製法に位置しております、海上音波探査記録において、ソートAB和牛層には変位変形は認められないものの、BorN層基底を含めると、それより下位の地層に西用紙の日用地の撓みが認められます。 |
| 0:28:11 | 日湾郵送の年代値を明確に特定することができないことから、英語版島沖断層と同様に兜岩沖断層は後期更新世以降の活動が否定できないと評価しました。                          |
| 0:28:24 | よって、a断層は認められないことを確認したA測線までの約 3.0km区間を将来活動する可能性のある断層等として評価しました。                                  |
| 0:28:37 | 以降のページが詳細データになりまして、125 ページは文献調査の結果ですが、文献で兜岩沖断層に相当する断層等は進めさせていただいておりません。                         |
| 0:28:48 | 126 ページは音響測深による地形調査結果で、   |
| 0:28:53 | 断層周辺の海底地形は平坦であり、変動地形は認められません。   |
| 0:28:59 | 127 から 130 ページは、断層地層の縁用地の撓みが認められるということから、断層が推定される測線の記録、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:29:09 | 131 から 134 備ページは北端と南端でA断層は認められないということを確認した測線の記録を示して示しております。   |
| 0:29:21 | 135 ページは重力異常との関係にあります、兜岩沖断層に対応する重力異常の急変部は認められません。   |
| 0:29:31 | 続きまして 137 ページをご覧ください。   |
| 0:29:37 | 137 ページは、当院は何あん断層と兜岩沖断層について、両断層が連続するという可能性を指摘した知見があることを踏まえて、両断層間の海域の地下構造について、                                 |
| 0:29:53 | 既存の海上音波探査に勤務加えて、新たに実施した改定重力探査の結果を用いて検討を行ったというものです。  |
| 0:30:03 | 138 ページから 141 ページに家右側が断層から兜岩沖断層間の海上音波探査記録を示しておりますが、この期間において、音響基盤DⅡ層以前に断層は認められません。                             |
| 0:30:20 | 242 ページに今回新たに実施した海底重力探査の地図を示しております。   |
| 0:30:27 | 右の図で黒丸と青丸が企業の重力測定点を示しております、あとバツ地主が今回実施した海底重力の測定点を示しております。   |
| 0:30:39 | とんと西岸の沿岸域では重力測定の空白域となっていたことから、  |
| 0:30:46 | この海域で陸上重力低と動同程度の高精度なデータを取得可能な改定 16 系を用いた会計 16 監査を実施しました。  |
| 0:30:57 | 143 ページが従来のデータとの比較ですが、時改定重力探査により、従来の従来に比べて、高精度のブーゲー異常図が作成できました。   |
| 0:31:12 | こうして得られた文以上ずっと断層の位置を重ね合わせたのは、144 ページになります。  |
| 0:31:20 | 岩永の断層に沿って南側に重力異常高まりが認められますが、南西方向会議の兜岩沖断層との間には、東西方向に低重力域が分布しておりまして、両断層は連続するような重力構造は認められません。                    |
| 0:31:38 | 145 ページが、以上のまとめになりまして、海上音波探査の結果、この区間に断層は認められないこと。   |
| 0:31:45 | 改定重力探査の結果、トリガな断層と兜岩沖断層の間には連続する重力構造が認められないこと、これらを踏まえ、当院はなんながん断層から兜岩来断層に連続する構造は想定されないと評価しました。                   |
| 0:32:04 | 続きまして 146 ページをご覧ください。   |
| 0:32:09 | 渡辺ほか 2015 では掛かん申請に形成された二段のベンチである離水ベンチと名の存在が間欠的な隆起を示唆するというふうにしておりまして、これをとにはNo.16 から兜岩沖断層に連続する構造を推定する根拠としております。 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:32:29 | この離水ベンチという面の関係を検討するために、左の位置図で赤色で示した5ヶ所の名において、ボーリングとピット調査を行いました。                                 |
| 0:32:40 | その結果、カスミ大浦油の3ヶ所の名は、右下の模式図で示すように、科医のベンチとほぼ同程度の高さである。   |
| 0:32:51 | 海底堆積部改正堆積物や岩盤の上限を人工改変で陸成堆積物が覆っている地形面であることを確認しました。   |
| 0:33:02 | また質疑する紙の名につきましては、基盤は河川による侵食されておりまして、その上を陸成堆積物が厚く覆っているというふうと考えられることから、周辺のベンチとの関係はわかりませんでした。      |
| 0:33:18 | これらの調査結果から、本地点における完新世の二段のベンチは存在しないと考えられます。  |
| 0:33:26 | 以降の147から154ページには5ヶ所、これらの5ヶ所の面の地質調査結果を示しております。   |
| 0:33:38 | 続きまして、155ページ以降は巻末資料として会議の地質貯蔵に関するコメントNo.9への回答資料をつけております。  |
| 0:33:50 | 156ページをご覧ください。  |
| 0:33:55 | 155ページの海域の地質層序については、1号機及び2号機の設置基本許可申請以降も継続して音波探査やボーリング等を実施して、年代評価の角度を向上させておりまして、                |
| 0:34:10 | 過去のバックチェックの審議において、浅部の年代評価を一部変更しております。   |
| 0:34:17 | コメントNo.9のBはBITS層境界の年代評価も含めて、現在の   |
| 0:34:25 | 地質層序地質層序年代評価に係る根拠データを表に整理して1のページと補足資料の1.2-3のほうに詳細データをつけております。                                   |
| 0:34:38 | コメントのありましたAB湾BPⅡ層の年代評価につきましては、163ページをご覧ください。  |
| 0:34:50 | 163ページの左のほうに示すように、Bor総和は中期から後期更新世Ⅱ層は中期更新世の地層と評価しておりますが、Bはソート率層の年代の妥当性について文献のボーリング調査ボーリング結果をもとに、 |
| 0:35:08 | 平均堆積速度を用いて確認を行いました。   |
| 0:35:13 | その結果が右の図になりますが、赤字は平均堆積速度から推定した後期更新世の規定までの総厚。  |
| 0:35:22 | 青字が音波探査結果から、解析したBワンピース層境界までの総厚を示しております。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:35:30 | もうそれぞれの地点において、赤字の後期更新世の規定までの層圧は、青字のBorDⅡ層境界までの層圧よりも小さいということから、日ワンピース層境界は、少なくとも中期更新世であると判断され、 |
| 0:35:46 | 左の年来と整合的であることが確認されました。   |
| 0:35:51 | 164 から 168 ページは、これらの各地点の詳細データ集をつけております。  |
| 0:36:00 | 169 ページには参考として、過去のバックチェックの審議で地質層序の年代評価を一部変更した経緯を説明した資料をつけております。                              |
| 0:36:11 | 2009 年 6 月の審議に以前はBor層は細区分されていなかったということから、BはBツー層境界は、MIS6 のMIS6 の侵食面に対応すると評価しておりました。           |
| 0:36:28 | しかし、次のページ、170 ページに示す原子力安全委員の前保安院の調査によって、当社は、それまでBはそうとして、                                     |
| 0:36:40 | 一括していた地層の内部に比較的強く連続性のよい反射面が認められたことから、年代評価を一部見直すこととなり、現在の評価に変更しました。                           |
| 0:36:54 | 資料の説明は以上になります。   |
| 0:37:05 | 規制庁タニです。説明ありがとうございました。   |
| 0:37:10 | ちょっとまず、私の方の全体の構成のほうから確認させていただきたいんですけども、  |
| 0:37:17 | 今回の敷地近傍の断層の評価っていうことでここで何かのコメント回答じゃん。   |
| 0:37:24 | コメント回答になって、コメント回答といったひとつとるじゃなくって、敷地近傍の断層の評価っていうことなんですけど。                                     |
| 0:37:32 | ただ、  |
| 0:37:35 | この資料で説明しているのは、   |
| 0:37:39 | 1 ページの   |
| 0:37:41 | 2 へと四つの断層ですね、この四つの断層について、  |
| 0:37:46 | のみ、今回抜粋して説明するっていうことなんですか。  |
| 0:37:55 | はい、北陸電力のノハラです。   |
| 0:37:57 | 今回はこの敷地近傍のA4 断層について説明をさせていただきたいと思っております。その中で、  |
| 0:38:06 | 5 ページに示します。2017 年 12 月のコメント。   |
| 0:38:10 | 幾つかございますが、   |
| 0:38:12 | この四つの断層の中で回答できるものについては、今回あわせて回答すると、そういった趣旨の資料となっております。以上です。                                  |
| 0:38:22 | 規制庁タニです。ちょっとですね、タイトルが多分、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:38:26 | 近傍っていうとも近傍全部  |
| 0:38:29 | なのかなっていう感じがあるので資料のタイトルっていうのはちょっと考えて欲しいんですけど。                          |
| 0:38:35 | 確認したのはそもそもAとC以下では、敷地周辺っていうのをどういう区分で、                                  |
| 0:38:43 | どういう構成で例えば海域と陸域を分けて説明するのかとか、  |
| 0:38:49 | 或いは1ページに載ってるような敷地近傍等、   |
| 0:38:55 | 近傍と言いつつ、4断層、二つ目が4断層以外の評価っていう一つの項目を作って、三つ目が地殻変動に関する検討結果みたいな感じで。        |
| 0:39:06 | 作られるのかっていうその辺のちょっと説明をしてもらっていいですか。                                     |
| 0:39:13 | はい。ほふり北陸電力ハマダでございます。また7ページの目次をご覧ください。                                 |
| 0:39:19 | 一応ここにですね今後の説明内容も含めた構成を書いておまして、まず大きな流れとしましては2章の中の2.2で、今説明した敷地近傍の四つの断層、 |
| 0:39:35 | 説明します。そのあと2.3で、敷地周辺の陸域  |
| 0:39:42 | 2.4で敷地周辺の海域という、大きく分けますと、三つの構成で説明する予定ですのでそれぞれの後に、また参照として、能登半島全体の       |
| 0:39:57 | 地殻変動に関する検討を載せるというこれが考えている構成でございます以上です。                                |
| 0:40:13 | はい規制庁谷です。   |
| 0:40:15 | 敷地周辺っていうのはこの目次に示してる通りで、今回はこの中の2.2.5までを説明しますっていう説明ですかね。                |
| 0:40:29 | 要するに、ちょっと気になったのが3ポツで地殻変動に関する検討っていうのを別で何か設けてるんですけど、きっとですね、この3ポツがないと。   |
| 0:40:41 | この近傍の特に海域の断層なんていうのが何か評価できないんじゃないのかなと。                                 |
| 0:40:48 | 言った、この関係性ですね、これを関係するんじゃないのかなっていう気持ちがあるんですけども、その辺どう考えてますか。             |
| 0:41:00 | 連絡のノハラです。   |
| 0:41:03 | 今回この参照に能登半島の後期更新世以降の地殻変動に関する検討結果とありますが、                               |
| 0:41:09 | その中で渡辺2015などで指摘されております。融資者から今後の課題でも限られてますが、科医域の活断層ですか。                |
| 0:41:23 | それに関連するものとして、岩永断層と兜岩沖断層のカイダの地質構造、                                     |
| 0:41:29 | これにつきましては特出しまして、今回2.2.5章。   |
| 0:41:34 | この中で、先に説明させていただくと。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:41:37 | そういったような資料構成を考えております。  |
| 0:41:42 | 以上です。  |
| 0:41:45 | 規制庁タニですけどさ、あと、今の説明では3ぽつの3ポツでまとめて資料としては作るんだけどそのうち必要な部分はもう取り込んでいますよっていう説明と理解しましたけどそれでいいですかね。                                       |
| 0:42:01 | 北陸電力のノハラです。その認識で考えません。以上です。  |
| 0:42:20 | それでちょっと何か素朴な疑問なんですけど、じゃあ近傍ね、この目次の通りやっていますよって言ったときに何か近傍にはほかにもなんか  |
| 0:42:32 | 何ページだったかな。   |
| 0:42:35 | 例えば41ページだったら、  |
| 0:42:42 | ですね、近傍っていう言い方がどうなのか、②のだとか③だとかですね。  |
| 0:42:48 | 構台南の断層だと思う。なんかを定かなかった付近の断層だとか、こういったものもあるんですけどこれは、  |
| 0:42:56 | この立て付けでいうと、周辺陸域で説明されるっていうことなんですか。  |
| 0:43:04 | 北陸電力ノハラです。   |
| 0:43:06 | 今、すいません41ページの②の学校で南の断層ですとか、③番永田付近の断層につきましては、敷地近傍に位置しますが、これらはこの   |
| 0:43:19 | 次回以降の敷地周辺のところで説明させていただきたいと、そのように考えております。   |
| 0:43:25 | 以上です。  |
| 0:43:31 | 規制庁タニです。ちょっとですねその辺の区別がわからないのと、だから今私最初に言ったようにこの資料のタイトル今回会合程度の範囲をするのかっていうのがちょっとあまり見えてこないのと、  |
| 0:43:47 | で、41ページ、42ページ出しましたけれども、ここにちょっとですね、敷地周辺の分がもうすでに評価結果の一覧表ですよこれ評価。   |
| 0:43:59 | 結果ですよ、この評価っていうのは、  |
| 0:44:02 | 何かもうすでに評価されてるような表が入ってて、これは何ていうんですかね 今回の資料として、  |
| 0:44:11 | どういう   |
| 0:44:13 | ふうに扱うのか、いやこれを今回議論しないんだっていうんであれば、ちょっとちゃんとその辺をですね、書いて欲しいし、42ページの安定特に今回更改ましたよって言うて今回こう変えましたよっていう話なんだけどこれはあくまで申請時からこう変わってるっていう話であって、 |
| 0:44:33 | 何なんていうのかな。   |
| 0:44:36 | 今回の会合をする上では、先ほど説明ありましたけど、  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:44:44 | これは話としては入ってこないわけなんですよ。壮大ちょっと資料でちゃんとわかるようにしていただきたいなというところですけど。   |
| 0:44:54 | よろしいですかね。   |
| 0:44:56 | はい。   |
| 0:44:58 | 北陸電力の浜田でございます。今おっしゃられたことを反映しまして今回審議の対象とすることをしっかり明確にするように、タイトルのところと、あと、今概要ということで全体を示しましたけども、そこら辺については今回の |
| 0:45:14 | 四つの断層についてが説明するところだったら、ここら辺をしっかりと明記したふうにして変更させていただきたいと思います。  |
| 0:45:33 | 規制庁ナイトウですけども、北陸電力としてのね。   |
| 0:45:38 | 周辺と近傍、何kmで分けるんですか。  |
| 0:45:46 | その考え方がわからない近傍と言いつつ4断層仕方なくてまず過圧になっているから、これがきくんですっていうのを言いたいのだろうと思うけどやその前段階として、敷地近傍は何キロ圏内を考えて、             |
| 0:46:02 | それを陸域海域でそれぞれ評価し方違うんだけれども、   |
| 0:46:08 | でそれぞれどういうものが、   |
| 0:46:10 | っていうそれぞれ長さが端部の評価をこうふうにやっってこうふうに   |
| 0:46:16 | 考えてます。  |
| 0:46:19 | という周辺が周辺で同じように、端部と考え方考えた上でこういうふうになってます。   |
| 0:46:27 | RIそのうえで地震動として考慮する断層として、   |
| 0:46:32 | どういうものをどういう考え方ですっていくんだけど、もう   |
| 0:46:39 | 地震動に考慮する断層がこれだからこれをつき地質でもって説明しますっていうふうな資料構成になってしまってるようにしか見えないんだけど。                                      |
| 0:46:48 | それだと。   |
| 0:46:50 | 何か説明としておかしくないですか、っていうことなんだけど。   |
| 0:47:10 | はい。Fujii電力のハマダです。またを敷地の近傍と周辺についておおよそ5キロくらいを近傍とは考えておりますけども、その近傍等をし、日5kmインダ                               |
| 0:47:26 | 以遠を区別して説明をしていくことは、実は考えておりません、先ほどタニさんが言われたように、5キロ圏内の断層の説明という意味ではございませんので、                                |
| 0:47:41 | ここはまずは福浦尊いが長々相当英語版にまだ下部胴この四つの断層について、まずは説明させていただきましてそれ以降は先ほど言いました構台永田ですとか御議論の中にあるその他の断層も含めて、             |
| 0:47:59 | そのあと説明しますので今回は、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:48:02 | いわゆる敷地周辺の中の4断層をちゅ抜粋して、   |
| 0:48:09 | 最初に説明するというふうな考え方でおります。以上です。  |
| 0:48:49 | 規制庁ナイトウですけれども、24断層を説明したいというのがわからなくはないんだけど、じゃあその4断層、                                  |
| 0:48:59 | 説明をするにあたっては、段丘面とかも使ってるところ近傍の段丘面からどういふふうになっていてっていうのも前提になるんでしょう。                       |
| 0:49:09 | それを3ポツで、後で説明をしますと言われても、  |
| 0:49:15 | 聞いても結論も何にも、  |
| 0:49:19 | わからないんだけどっていう資料にしかならないんじゃない。   |
| 0:49:27 | その補機冷却なりして3ポツで、  |
| 0:49:30 | 説明しますのは能登半島全域の段丘面という意味   |
| 0:49:36 | ことを考えておまして、敷地近傍の段丘につきましては、31ページの段丘面分布図も示しておりますし、                                     |
| 0:49:46 | その他段丘面としてはしていなかったところについても、先ほど言いましたように特出して説明しますので敷地近傍に関連する知見の説明は今回させていただきます。と思っております。 |
| 0:50:14 | 通常の状態ですけれども、刀禰段丘の話は特出されても、   |
| 0:50:22 | 何を説明したいのかよくわからない。  |
| 0:50:25 | 全体としてこういう傾向の中でここだけが傾向が違うからということの傾向の違いっていうのはこういうことなんですっていう説明があるんだったらわかるけど。            |
| 0:50:38 | そういう構成にもなってるわけですよ。でも全体の構成するんだったら、全体で出してもらえばいい話だし、                                    |
| 0:50:48 | 何を何を説明しても我々に何を   |
| 0:50:56 | 納得してもらいたいのかがわからないと説明したという実績を作るだけだったらあんまり審査をやる意味がないので、会合をそこを議論する意味がないので、              |
| 0:51:08 | 何らかの結論を  |
| 0:51:10 | 出さなきゃいけないんですよ。   |
| 0:51:13 | なかなか結論を作っていかなきゃいけないんだけど、このトリガーとか福浦と記号のんが、  |
| 0:51:21 | 兜岩   |
| 0:51:23 | 男島断層の説明をして、何の結論を   |
| 0:51:30 | 他院ですかね、説明をしたという実績は、  |
| 0:51:35 | いられるけど、何か結論、今の資料と我々、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:51:40 | 何かここをわかった。  |
| 0:51:42 | 次に必要なものはないんだけど。   |
| 0:51:45 | 何を議論をしたいんですか。   |
| 0:52:23 | 聞こえていますか。   |
| 0:52:28 | 今日とりますと今確認させて回答させていただきます。   |
| 0:53:16 | 電力のハマダです。今まず3章のほうは先ほど言いましたように能登半島全域の30kmよりも大きな地形の話で、今回議論していただきたいのは、敷地周辺のおおよそ5キロ。                        |
| 0:53:32 | にある   |
| 0:53:34 | 断層がどういうものがあるのか、そして地形に表れていることから考えるとかに見落としがないのかも含めて、審議していただきたいので、ちょっと先ほど言いました敷地周辺の礫子区にある絵は広大ですとか永田付近の     |
| 0:53:51 | 断層も加えまして、おおよそ5キロ圏内にある後期更新世以降の活動をする断層がどれなのかあと近くか地殻変動から見て他に見落としがないのかということ審議させていただきたいと思いますので、              |
| 0:54:08 | 41ページの2番三番も。説明内容と入れ加えさせていただきます、タイトルとしてはそういう意味では敷地近傍の断層の評価ということで、ちょっとやっぱの変更させていただきたいと思っております。以上です。       |
| 0:55:42 | 北陸電力の浜田です。一つ確認させていただきたいんですけども、今班を先ほどの敷地近傍おおよそ5キロ圏内の地殻変動に関する検討結果を説明したいと思います。説明しましたけども、                   |
| 0:55:59 | その際、誓っ近傍の地殻変動を議論するには能登半島全体の地殻変動も、全体像として、示す必要があるという理解でよろしいのでしょうか。  |
| 0:56:14 | 規制庁のタニですけど、多分ですね、7ページの目次でいうと、   |
| 0:56:20 | 1ポツ2ポートとかいうのは、これは種これは何て言うんですかね、近傍に限ったことを書いてるわけじゃなくて、この周辺、敷地周辺の地質地質構造について要するに陸域だとかかい期だとかそういうのも全部含めて、ここで、 |
| 0:56:38 | 1ポツ2ポツっていうのがあって例えば文献の断層だとかいうのも全部も高齢で出ているんですっていうような  |
| 0:56:47 | 説明なんですよね目次を見ると、   |
| 0:56:50 | で、果たして、   |
| 0:56:53 | その周辺、周辺の地質地質構造を議論するだけのデータは全部入っているのかというと、いや、3ポツの中には地殻変動に関する検討がまだ   |
| 0:57:07 | 残ってますよみたいな感じになるとやっぱり何か全体の地質地質構造っていう話が   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:57:14 | 本当できてるのかなっていうのを、この目次を見る限り感じるんですよね。その辺のところはどうなんですかね。何で4断層だけ。  |
| 0:57:24 | 先に説明するのかとか、  |
| 0:57:28 | 目次でいうとやっぱり最初は全体の話から始まっているのか、その辺の資料構成上とちょっと何を   |
| 0:57:38 | どこまでの範囲をどういった目的で説明されたいのかっていうのがちょっと見えにくくなってるとかなと思うんですけど。  |
| 0:57:48 | まず1ポツ2ポツっていうのは、敷地周辺全部の話がもう入ってるっていうことでいいんですか。   |
| 0:57:57 | メーリングハマダです。1ポツはそういう意味では敷地周辺全部のことを説明しておりますんで、2ポツも敷地周辺の活断層全部説明するんですけども、その中の近いほうから四つだけが今回の説明範囲でそのあと他のやつも説明。 |
| 0:58:14 | したいという、そういうくりですので、   |
| 0:58:17 | ちょっと、うん。そういう意味で3ポツが、   |
| 0:58:21 | 今の資料の立てつけていきますと、1ポツつうの。  |
| 0:58:26 | あとにしっかり入れてまずは理解していただくから個別に入っていくという流れのほうがいい、いいかと思います。そういうのようにし、   |
| 0:58:37 | やり方もあるかと思います。  |
| 0:58:51 | ちょっと私の言い方もあることですね2ポツじゃなくて、1ポツですね全体の  |
| 0:58:56 | この中に、3ポツを入れれば必要な   |
| 0:59:00 | 前段のあれですかね。   |
| 0:59:03 | 敷地周辺の地質地質構造っていうのをまず  |
| 0:59:07 | 断層の話に移る前の話は全部整理できるってことなんですかね。  |
| 0:59:15 | はい。そそのような形に  |
| 0:59:18 | したいと思います。はい。   |
| 0:59:36 | ちょっと規制庁タニですけど、資料構成のほうをちょっと   |
| 0:59:41 | 見直していただけたらと思います。今回どの範囲まで説明するのかというのも含めてですね。   |
| 0:59:48 | お願いいたします。  |
| 0:59:51 | 配付リングハマダ承知いたしました。はい。   |
| 0:59:54 | 続いてちょっと内容とここに入っていこうと思ってるんですけど、まず今回、これまでの説明と大きく変わったところとして時側何がん断層がこれ将来活動の否定できない断層と、                        |
| 1:00:10 | 評価替えましたよっていうのがちょっと大きなところですね、   |
| 1:00:15 | この辺がですね。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:00:19 | 資料 90 ページから始まるんですけども、   |
| 1:00:24 | これですね、なんで前回の説明から  |
| 1:00:29 | 評価が変わっているのかっていう部分がですね、今一こう何か資料でなんていうんですかね段丘が                                    |
| 1:00:37 | 認められないから、   |
| 1:00:40 | 将来活動する可能性がある断層等として評価してるっていうような書き方してるんですけど。                                      |
| 1:00:46 | おそらくこの資料見ていくと実はそうじゃなくて、   |
| 1:00:51 | これまではトレンチ調査 94 ページのトレンチ調査をやってってここに断層がないから。                                      |
| 1:00:59 | ていうのを根拠にしたような気も。  |
| 1:01:01 | するんですけども、それに対して何かボーリング調査をしてですね。   |
| 1:01:07 | 断層果実を見つけて、  |
| 1:01:10 | トレンチとは違う位置にあるとか何かそういう話の流れなのかなっていうふうに思ったんですけど、その辺のところ、実際はどうなんですが、これまで、           |
| 1:01:22 | これは   |
| 1:01:25 | 将来活動する可能性のないないとしていた理屈とこの段丘面だけの話だったんですかね。  |
| 1:01:33 | もうちょっとちょっとこの辺の経緯っていうのを、   |
| 1:01:36 | 教えていただけますか。   |
| 1:01:40 | 北陸電力の原です。   |
| 1:01:42 | 資料の 97 ページをご覧いただきたいと思います。   |
| 1:01:49 | 97 ページの   |
| 1:01:51 | 右側のほうに拡大地図とありまして、こちらのほうに緑で示しますCランクのリニアメントと。                                     |
| 1:01:59 | 青で示しますA、Dランクのリニアメント日本   |
| 1:02:03 | 判読されております。  |
| 1:02:05 | これまでは基準 4 ページに載せておりますトレンチ調査結果などで、   |
| 1:02:11 | この緑のCランクのリニアメント、ヤマダのリニアメントについては、このトレンチ調査などでこのリニアメントに損対応する断層はないというふうに評価をしておりました。 |
| 1:02:22 | そしてこの部屋側の青いリニアメント、  |
| 1:02:25 | こちらにつきましては、その 97 ページの絵の拡大地図とその左側の広い段丘面分布図、両方見ていただきたいんですが、                       |

|         |   |
|---------|---|
| 1:02:34 | こちらのほうに傷が7ページのこの青いリニアメントのすぐ右側に小規模な分布で中位段丘I面が分布しております。                               |
| 1:02:43 | こちらところの青いリニアメントを挟んだ反対側へと図面でいきますと左側の北側のほうになります、北側のほうには広い範囲一段基準が分布しております、             |
| 1:02:54 | この11中位段丘I面の高度差がないこと、こちらのほうでトリガの断層の活動性を否定しておりました。                                    |
| 1:03:02 | 今回ですね2017年の12月の審査会合で、この手際が朝の段丘に関するコメント。   |
| 1:03:11 | こういったものが出たことから、これは小規模な分布での活動されまして、より確実な評価が  |
| 1:03:20 | 必要と考えました。   |
| 1:03:22 | それがきっかけで、新たに点検調査を再度行いましたが、  |
| 1:03:28 | 注入弁一番につきましては、地質的なデータの拡充はできましたが、この小規模の分布を広げるような                                      |
| 1:03:36 | データ拡充が得られなかった。  |
| 1:03:39 | いうことでさらに古い段丘面、高位段丘面での活動性の評価を試みましたが、   |
| 1:03:48 | ところが、これとい穴が出されて北方には高位段丘面たくさん分布しておりますが、  |
| 1:03:55 | 南側のほうは何件の面が平坦性、保存がよくなくてですね。   |
| 1:04:00 | これだけ1面に面、こういったものが分布しないと。  |
| 1:04:05 | 一番皆さんも分布しておりませんで、4年後面とかあるんですが、これ下のほうの   |
| 1:04:12 | 会議のほうの新しい時代の段丘面が分布してないので、この4年後面の時代性の確実性制度が劣ると。                                      |
| 1:04:19 | こういった情報がございます。  |
| 1:04:21 | こういったことで、さらにまたな製法のほうでも文献が注意段丘面の認定をしておりますが、我々の調査結果から、こういったものは黒線上司菅湖先ということで、段丘面ではないと。 |
| 1:04:34 | こういったことから、段丘面での比較というものが困難と。   |
| 1:04:38 | そういうことで今回評価を変更しております。それだけになります。以上です。  |
| 1:04:45 | 規制庁タニです。  |
| 1:04:47 | だからちょっとその辺の説明さ特に最初のところですね、これまでは、  |
| 1:04:56 | 97ページの緑側緑色山側のリニアメントに対して主に調査してきたんだけど、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:05:07 | いや、やっぱり何か慎重にというかコメントを踏まえて、   |
| 1:05:12 | ちゃんと調査したら、   |
| 1:05:15 | 新しく評価すべき何このこのリニアメント、   |
| 1:05:20 | もう一つのリニアメントも評価すべきだったんだとか、そういった多分流れがあるんだと思うので、  |
| 1:05:28 | 本店ですかねただ単にちょっと地形を区分  |
| 1:05:33 | して   |
| 1:05:36 | 活動性その他だ段丘面がないから活動。   |
| 1:05:41 | ス将来活動する可能性のある断層、   |
| 1:05:44 | にしたとか、そのちょっとそういうそういうただ単にそんな説明ではないんだろうなんて思ったんですけど、今説明を受けたところってどっか書いてるんですけど。                       |
| 1:05:59 | はい、グリーン電力のノハラです。今タニ先生ましたので、これまでの経緯とかそういった詳細については今、今回の資料には掲載しておりませんので、そういったことも記載するように修正したいと思います。  |
| 1:06:13 | 以上です。  |
| 1:06:19 | はい、お願いします。   |
| 1:07:22 | 規制庁タニですとですね何か変わったっていうような説明で5番島沖断層の長さを変正的適正化しましたっていうのがあったと思うんですけど。                                |
| 1:07:35 | これもちょっと  |
| 1:07:37 | もうちょっと詳しく、何を適正化したのか教えてもらっていいですか。   |
| 1:07:49 | 北陸電力のノハラです。  |
| 1:07:51 | この5番上記断層につきましては、この申請時点におきまして、  |
| 1:07:58 | 単純に資料の誤記になります。評価方法からですとか、評価長さを変えたとかそういったことではございませんで、ちょっと資料上の動きですので、今回適正化ということで、長さを修正しております。以上です。 |
| 1:08:14 | 規制庁タニです。誤記だなんですね、それは、  |
| 1:08:17 | 前回の会合も誤記のまま一定で今回適正化したんだということで、そういう理解でいいですか。  |
| 1:08:26 | はい、ノハラです。その通りです。   |
| 1:08:30 | です。  |
| 1:08:31 | はい、状況はわかりました。  |
| 1:09:17 | 規制庁タニです。   |
| 1:09:19 | えっとですねそれではちょっと、  |
| 1:09:22 | 個別の断層の話から入っていきたいと思いますけど。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:09:28 | ですね、まず福浦断層なんですけど。  |
| 1:09:34 | これちょっとみ見ていって、  |
| 1:09:37 | 57号18っていうのが、リニアメントを判読しましたよっていうような話なんですけど。  |
| 1:09:44 | この辺ですねまず空中写真とかは付けていただきたいなって思ってるのと、何かこれを見て、何か   |
| 1:09:54 | 判読の要素なのかっていうのが58ページではざくっと書いてるんですけども、   |
| 1:10:00 | 例えばこれっていうなんというんですかね、何を根拠にしたこと言うとなんか下を見ると、撓み状というか高度不連続みたいなものもあるのかなと思うし、                   |
| 1:10:11 | 57ページ、これ今泉ほかは水系の屈曲っていうのを見てるんですけど。  |
| 1:10:19 | 水系のフック局みたいなのは御社としては、   |
| 1:10:24 | この評価に入れているのかどうかとか、   |
| 1:10:28 | ちょっとこの辺、   |
| 1:10:30 | もう少し細かくどういう地形要素読んだのかっていうのは、  |
| 1:10:39 | つけていただきたいんですけど。  |
| 1:10:41 | まず、今泉ほかの水系の屈曲って、これは御社としては認めてるんですか。   |
| 1:10:54 | はい、北陸電力の木村です。  |
| 1:10:57 | まず今泉。  |
| 1:11:01 | 今泉ほか2018で示された水系の屈曲につきましては、当社としては、これは判読しておりませんで、当社としての                                    |
| 1:11:17 | リニアメント判読の所地区基準とした地形の要素としては58ページに記載している。  |
| 1:11:27 | 東側低下の堤外ですとか、直線上の谷  |
| 1:11:32 | などになります。これにつきましては  |
| 1:11:37 | 空中写真を次回ちょっとつける。  |
| 1:11:42 | どうしてももう少し詳細に御説明したいと思います。   |
| 1:11:48 | 以上です。  |
| 1:11:51 | はい、タニですお願いしますねこ段丘の高度不連続っていうのも入れてるってことですか。  |
| 1:11:58 | 入れてるんだったら入れてるって書いて欲しいし、その水系の屈曲っていうのは、既往の知見等を間違える評価をしてるんだったら、そのことについては、何かしら説明が要るのかなと思います。 |
| 1:12:14 | よろしいですかね。  |
| 1:12:18 | はい、北陸電力の木村です。  |



|         |  |
|---------|--|
| 1:12:22 | 段丘の高度不連続というものは、  |
| 1:12:26 | 判読しておりませんで、この段丘のたわみを   |
| 1:12:31 | たわみの形  |
| 1:12:33 | 撓み状の地形から   |
| 1:12:38 | 低ナイトウ撓み状の地形から判読しております。そのあたり、次回きちんと資料化して御説明したいと思います。以上です。         |
| 1:12:56 | はい規制庁谷です。ちょっとたわみっていうのを認定してるっていうことなので、その辺ちょっとこれ、                  |
| 1:13:04 | あれですね、もうちょっと細かく説明していただくとかないと。                                    |
| 1:13:08 | わからないかなと思います。  |
| 1:13:11 | あとはその次から例えば端部の話をするんだけど、  |
| 1:13:16 | 例えば 59 ページ 60 ページとかですね。  |
| 1:13:19 | これ   |
| 1:13:22 | だから先ほど言ったことがですねこの 59 ページとかで、リニアメント変動地形は認められないってこうさらっと書いてあるんですけど、 |
| 1:13:31 | 具体的にどういうものを判読したものが途絶えているのか。                                      |
| 1:13:37 | これ今崖が途絶えしか書いてないんですけど、そのほかたわみも                                    |
| 1:13:44 | 束見とかそういうのもあるんですよ判読しているの。   |
| 1:13:47 | その辺しっかりとですね端部の評価っていうのは書いていただきたいなと。                               |
| 1:13:53 | 思います。何を根拠にしているのかですね。   |
| 1:13:59 | いいですかねと。   |
| 1:14:03 | 北陸電力キムラです。承知いたしました。次回、詳細に記載したいと思います。                             |
| 1:14:08 | はい。  |
| 1:14:10 | 続いてですね、あとはですね私この 64 ページで、  |
| 1:14:15 | 福浦断層の露頭見つけてますっていう話なんですけど、これ                                      |
| 1:14:22 | 読んでるリニアメントを、   |
| 1:14:24 | リニアメントとこれ大分違う位置にこう断層見つけて評価しているわけなんですけど、この辺り言って、                  |
| 1:14:33 | 要するにこの断層自体断層とリニアメントの関係はというふうに考えてるんですか。                           |
| 1:14:44 | はい、北陸電力キムラです。福浦断層のリニアメント変動地形は、この大坪和田部の貯水池の中を通る                   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:14:58 | というふうに考えておりました、今回調査した、この衝動剥ぎなりトレンチにつきましては、この上盤側といいますか、西側で広い範囲で表土表土はぎ等へ行ったんですけども。                        |
| 1:15:13 | その結果、A断層は1本見つかったと。これが福浦断層等総合傾斜が調和的であるということと、それからこの断層を確認したといった点もちょっと                                     |
| 1:15:29 | 北側のほうですね、64ページの   |
| 1:15:37 | 真ん中の地形図を見ていただきたいんですけども、64ページの   |
| 1:15:42 | リニアメント変動地形の緑色の線が引いてあるところの、少し左側に   |
| 1:15:52 | 少し直線的に見えるタニがございます。これが福浦断層等平行な方向に走っているタニでございます、この位置に今確認した断層はあります。  |
| 1:16:08 | こういったことから、今回この積が付近で確認した断層につきましては、   |
| 1:16:14 | 福浦断層に関連する断層である。   |
| 1:16:17 | 副断層である可能性もあるというふうに考えております。  |
| 1:16:22 | ただ、福浦断層の主断層、  |
| 1:16:26 | そういったものが積はダムの   |
| 1:16:32 | 貯水池の中に存在するという可能性は   |
| 1:16:39 | できないと考えております。   |
| 1:16:43 | 説明は以上です。  |
| 1:16:46 | 規制庁の谷です。ちょっと今の説明っていうのは、多分ここ書かれてなくて高齢層福浦断層みたいな感じで。   |
| 1:16:55 | 私はこれ資料読み取ったんですよ。例えば66ページは福浦断層、道路のり面っていうふうに書いてあったりとかして、  |
| 1:17:06 | その辺の今後いことをちゃんと示して欲しいのと、   |
| 1:17:11 | だったらですよ。そうであれば、このリニアメントとは違うところにも断層はありますよと。しかもそういった断層って、活動性を否定できない、そのトレンチとか見てもですねっていうことになれば、             |
| 1:17:27 | じゃあこのリニアメントの端部、   |
| 1:17:31 | 本当に断層の端部ってしてもいいんですかとか、その辺の考え方にもこう影響するのかなと思うんですよ。いや、福浦断層ではない断層みたいなものを横にもあって、それも活動性否定できないんだ、それをリニアメントとして、 |
| 1:17:49 | とらえられていないんだっていうことになると、何かちょっとその辺の整理を   |
| 1:17:54 | 道道考えてるのかなっていうのをですね、その端部の評価のところ考えを聞かせていただきたいんですけど今特になければ、また資料でも出していただけたらなと思いますけど。                        |
| 1:18:09 | すいませんヨシダです。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:18:11 | ちょっと補足させていただきます。  |
| 1:18:13 | この福浦断層ですね、ユウシャ会合のときに掘ったトレンチなんです。積もるダムでここはその辺さんざん調査しましたし議論しました。  |
| 1:18:22 | 61 ページ見ていただけますかね。   |
| 1:18:27 | その辺はもう我々十分理解しておりますんで、61 ページの袋全体像を見てくださいで上のほう北のほうはですね、半分Bランクの黄色ですとか、非常に直線的な直線的ですよ。南の半分は、                         |
| 1:18:42 | Cランクの緑でDランクの方が少し  |
| 1:18:46 | 陸側に膨らんでるような形ですねこの福浦は大体海のほうにさしている東西傾斜、   |
| 1:18:53 | 断層でaです。基本的なことから、この形を見れば、断層っていうのは地表にくると少し枝分かれしたいですね、そういう現象が見られます。そういったことも含めてですね、ユウシャ対応の議題はですね。                   |
| 1:19:09 | このダムの下に沈んでいますので、南のほうは、調査に限界がありますけれども、今ほどの 64 ページを見ていただきたいんですけど。   |
| 1:19:19 | 蘇生もリニアメントの周辺を全体的に調査しようという形で記録掘りました。ただし、この緑とですね、青の延長上がもうダムの底なもんですからいけません。ただし、やはり全体のとれ取れんのですよね、それを見ながら、           |
| 1:19:38 | 大坪ダムの 64 ページのイノウエを全体に入ったというときに、少し断層らしきものをもう少し断層を確認したということで、今のこの越畑もトレンチですね、最終的に 70 ページ。                          |
| 1:19:53 | これを確認してこれを福浦断層の本当に行きますか、ここは、夕食がもう事前にはですね、いろいろ先生のほうから、今回は  |
| 1:20:06 | 水に沈んでいると、これが副断層の可能性があるので、リファレンス等々の断層の諸元を出すときには、過小評価になるので、本体がまだほんと、東側にある可能性も含めて評価しようというコメントもいただきましたんで、ただしも全体の位置、 |
| 1:20:24 | 考えてここは福浦の   |
| 1:20:28 | 副断層と考えたということになりません。それを少しちょっとはしよった形ですけども、また明記いいできるところはしていきたいなというふうに思ってます。  |
| 1:20:40 | 以上です。   |
| 1:20:46 | 起算すいません端部の話ですね、田んぼですね、北も南も秋田は 1 本ですけど、南のほうもその辺も網羅する形で黄色いエリアで調査を行っております。以上です。                                    |
| 1:21:05 | 規制庁のカイダです今おっしゃった内容は確かに  |
| 1:21:09 | 有識者会合のときに、議論があって、今、トレンチを掘ってる場所は、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:21:15 | 守ろうリニアメントのところじゃないんで、湖の中にはあるんじゃないかっていう話があったっていうのは今おっしゃった通りで、               |
| 1:21:26 | 確かにこの今掘ってるところ思っても、もうすでに   |
| 1:21:31 | あれですかね、将来の震源として考慮する活断層、   |
| 1:21:36 | いう評価になっているので、その活動の年代の評価自体は  |
| 1:21:42 | そういうふうには評価されているので、  |
| 1:21:45 | 問題はないかもしれないんですけども、  |
| 1:21:48 | 長さを評価するにあたっては、  |
| 1:21:51 | それと今、今ほどの中で御説明の   |
| 1:21:55 | 考えみたいなのか、どこにも書いてないので、やっぱりこの、ここでトレンチを掘ってる意味というのを、                          |
| 1:22:02 | リニアメントの関係をどういふふうにかつていうのはちゃんと説明していただかないといけない。                              |
| 1:22:09 | それは書いてないと、もうあたかもここが福浦断層の  |
| 1:22:15 | ですみたいなふうにも読めてしまうので、   |
| 1:22:18 | 一応そこはしっかり書いていただいて、  |
| 1:22:21 | で、  |
| 1:22:22 | 結局端部のほうはちょっと今、しっかり調査してますというお話があったんですけど。                                   |
| 1:22:29 | このオレンジ北端はオレンジの。   |
| 1:22:32 | 北のほうで網羅的にやって、   |
| 1:22:37 | 出てきませんでしたっていうのはこのルートマップ   |
| 1:22:39 | 当然、南は、  |
| 1:22:43 | 南は何か。   |
| 1:22:46 | 続いているんですけども、広がっていくんでとしたら、   |
| 1:22:49 | ピンポイントでこういうふうには絞り込めないかもしれないんですけど、南っていうのはどっかあるんです。                         |
| 1:23:00 | 隔離弁類キムラです。南のほうの調査につきましては、80 ページ以降に、                                       |
| 1:23:07 | つけておまして、リニアメント変動地形の南方に分布する高位段丘 I a1 名周辺の道路の底盤において表土はぎそれから                 |
| 1:23:21 | 82 ページに   |
| 1:23:24 | 間のボーリング調査、  |
| 1:23:27 | を行っております。それから 83 ページに、さらに南方の中位段丘 I 面も調査して旧汀線高度がほぼ同じ高度で連続するということも確認しております。 |
| 1:23:40 | 以上です。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:23:43 | 規制庁のカイダです。  |
| 1:23:44 | 今 80 ページのところを見ると、ちょっとさっきほど先ほどのちょっと話、                            |
| 1:23:52 | と関連するんですけども、  |
| 1:23:54 | やっぱり青いラインっていうのが、  |
| 1:23:59 | 呑ん南方ではやってるけど、   |
| 1:24:03 | 暖気  |
| 1:24:05 | 何だ、副断層があったかもしれないっていうトレンチの                                       |
| 1:24:10 | 南のほうまでは網羅されてない。   |
| 1:24:14 | ここはどうなんですけど、その部分は、  |
| 1:24:18 | 道があるようなふうを書いてあるんですけどその先っていうのは、特に調査は<br>されていない。                  |
| 1:24:26 | 三つ道西もっと西のほうですね。   |
| 1:24:39 | 北陸電力キムラです。先ほど大坪がダムの特レンチで確認した断層の延長部<br>につきましては、80 ページに図で示している。この |
| 1:24:53 | 黄色い懇談黄色い色で塗った高位段丘 I a 面ですね、1mm が広く分布してお<br>りまして、面に              |
| 1:25:04 | 変形等の  |
| 1:25:07 | 変動地形は認められないということで、そういったことで確認しておりますの<br>で、                       |
| 1:25:15 | この  |
| 1:25:16 | 先ほどの断層確認位置をこちらのほうに過失図示して、そういった評価を                               |
| 1:25:26 | プラスしてここに記載さいと思います。以上です。   |
| 1:25:41 | カイダです。ちょっといずれにしてもちょっとその辺りを網羅的に、                                 |
| 1:25:46 | 結局どの場所か通るかっていうのが、   |
| 1:25:49 | はっきりしないところでの調査なので、  |
| 1:25:53 | 端部は網羅的に   |
| 1:25:56 | 進めしていただきたい。   |
| 1:25:59 | もっと   |
| 1:26:01 | あと今、  |
| 1:26:03 | 今回トレンチを掘ったところの段丘名っていうのも、もともと                                    |
| 1:26:08 | なんて言うんですかね。今南方で   |
| 1:26:12 | 1 から I a 面っていうのが、   |
| 1:26:16 | 地表面にこうまあ地形面に、   |
| 1:26:20 | 特にこう変形みたいながないということで説明されようとしているんですけど。                            |
| 1:26:25 | 今回、断層見つけたところのやせ尾根の上の  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:26:31 | ところももともとそんな  |
| 1:26:33 | 特に変形とかなないけど掘ったら出て来たとか、   |
| 1:26:37 | そういう話じゃなかったでした。ちょっとそれをもし間違っていたら、   |
| 1:26:43 | 教えていただきたいんですけども、   |
| 1:27:08 | はい。  |
| 1:27:10 | はいSS少し 64 ページで説明いたします昔の経緯ですね、あの先ほど説明しましたけれども、福浦の周辺で網羅的に調査をやるということでここで 64 ページの右の絵で青で書いた。                      |
| 1:27:25 | ところを表で何をしましたので、ここで赤の矢印費が大坪側ダムが北岸道路のり面  |
| 1:27:35 | 脳層が確認したということがまず最初でした。その次に延長の南側道路ここを表題にしました。水の岩盤を出したときに同じような走向で延長上に赤の断層も見せました。                                |
| 1:27:50 | そうしたときにここには段丘面調査をしっかりやっていますので、そこでそのやせ 4 のところに I b 面がしっかりあるというところでここで上で掘れば、断層が延長なもんでとらまえて、そこで活動性評価ができる。       |
| 1:28:05 | いう順番であったときに、大坪ドアのトレンチの結果が出たと、そういう状況です。ここは一部がしっかりやせ尾根ですけども、あるという形でトレンチの断面見てもですね。しかしながらなん板上面が                  |
| 1:28:22 | 波食台であってですね、歴史があつて、それで改正ものがあるという、透磁率しっかりした評価で活動性評価をしております。  |
| 1:28:32 | ハマダです。あと、ちょっと補足しますと 80 ページを見ていただくと。  |
| 1:28:37 | 今あのトレンチがあったところは 8 ページの絵と真ん中でいうと、左上のほうにある非常に今言いましたやせ尾根のところを出た際にここでは地形的に判読としては見えておりませんでした。ただ、今掘ったら例えば先ほど、今ほど、  |
| 1:28:55 | ヨシダを説明した通りで、あと、  |
| 1:28:57 | 否定する方は次ハ-8 ページの真ん中で言いますと、その下にあるハッチの内黄色の広がりと言いますとかなりきつちりとやせ尾根ではなく残っているところが広く分布しておりますので、このオダ段丘面ではもし            |
| 1:29:14 | 変形があればしっかり見えただろうということで、そういうものがなかったということでやせ尾根だのところ、トレンチを掘ってますけども、地形的に指定するのは広く分布している一面で規定をしているということになります。以上です。 |
| 1:29:31 | ここら辺の記載がないねこれもしっかり書かさせていただきます。   |
| 1:29:42 | 規制庁ナイトウですけども。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:29:44 | えっとね、細かい話の以前の話でどこに福浦の延長部がないから、どこを含む担保にしたんですか。  |
| 1:29:53 | それが全然わからないかもしれんでしょう。   |
| 1:30:03 | 北陸電力キムラです。   |
| 1:30:06 | 福浦断層の南につきましては 80 ページの表土を剥ぎをしてやったエリア、それから、さらに南方の中位段丘 I 面で旧汀線高度に   |
| 1:30:21 | 不連続はないということから、   |
| 1:30:25 | リニアメント変動地形を判読してきた所Aに変動地形の笑認められる南端  |
| 1:30:34 | のところを福浦断層の南端としております。   |
| 1:30:41 | それ、  |
| 1:30:45 | 56 ページのほうに書いてありますけども、56 ページの上から 3 丸目ですね。   |
| 1:30:55 | リニアメント変動地形の北方南方における調査の結果、福浦断層に対応する断層は認められないことなどからってというのが先ほどいった表土はぎとか、旧汀線高度の調査ですけれども、                       |
| 1:31:11 | そういったもので認められないことからなどからリニアメント変動地形が判読される約 2.7km区間を将来活動する可能性のある断層等として評価するというふうに評価しております。                      |
| 1:31:26 | 以上です。  |
| 1:31:44 | 一応沼津性です。南の道路剥ぎのことに   |
| 1:31:50 | ちょっと   |
| 1:31:54 | 御聞きしたいんですけれども、82 ページ、道路剥ぎができない区間に解消、   |
| 1:32:00 | 群列ボーリングをされた結果が出てるんですけれども、  |
| 1:32:10 | 基盤の安山岩の岩盤上面に変位がないと。  |
| 1:32:15 | ということは確認されたことはこれから分かるんですけれどもそれがどうして断層の存在を否定できるんですかね、ここでも断層による影響がないという表現になって断層がないとは断定されてないんですよね。それがどうしてここも、 |
| 1:32:31 | 断層の端部の   |
| 1:32:35 | 証拠というふうに考えておられるんでしょうか。   |
| 1:32:41 | 北陸電力キムラです。   |
| 1:32:44 | 福浦断層の  |
| 1:32:48 | そう思う積がダム案等についてですね。   |
| 1:32:51 | ページで言いますと、70 ページで、   |
| 1:32:55 | 断層のあるところではこのように基盤の上面に高度差が出てくると、  |
| 1:33:06 | 断層を挟んでこちらで言いますと、西側が東側に対して、約  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:33:14 | 2 から 2.5m高くなっているという状況が確認されております。それから   |
| 1:33:22 | もう 1 点が受けて北方周辺ですね、62 ページ。  |
| 1:33:29 | 62 ページですけれども、ここでも福浦断層の断層を挟んで西側が東側に対して、約 3.5m岩盤は高くなっているというこれ日東側はトレンA、                                   |
| 1:33:45 | 露頭では岩盤見えてませんですけども、簡易ボーリングによって岩盤の上限をとらえておりました、  |
| 1:33:52 | 約 3.5mの地下に安山岩を確認したということから、3.5m程度の岩盤の面の落差がここでも見られたと。  |
| 1:34:05 | そういったことに対して、この南側の 82 ページですけれども、82 ページでこういうふうに分裂ボーリングを行った結果、そのような岩盤上面の落差はないと。                           |
| 1:34:21 | ということから、ここには断層は推定されないというふうに評価をしてございます。   |
| 1:34:28 | 今御説明に合った岩盤上面の落差を確認した上Nb区間ですよ。  |
| 1:34:38 | 今私が御質問してるのは、LDのマナー南のほうですよ。   |
| 1:34:44 | そこで 3m5mの落差を期待するのはちょっと難しいかなと思うんですが、  |
| 1:34:50 | いかがでしょうか。  |
| 1:35:41 | これノハラです。   |
| 1:35:44 | 今おっしゃったようなものを微小の班員となりますと 82 ページで示すような群列ボーリングでは確かに  |
| 1:35:56 | 不確実なところもあると。   |
| 1:35:58 | そういったところから 83 ページに示しますような中位段丘 I 面、   |
| 1:36:04 | の旧汀線高度も含めてなんだろうと思っております。   |
| 1:36:07 | こういったことから、そういったことも含めまして総合的な判断としまして我々としてしましてはリニアメント変動地形が判読できるように南端として評価しております。                          |
| 1:36:22 | 以上です。  |
| 1:36:26 | 規制庁ナイトウですけれども、皆さんが、だから、北側のところとかで岩盤の落差がこのぐらいあるのを確認して落差が認められないからって設備ただけど、そのデータって何にも書いてないし考え方も何も書いてないですよ。 |
| 1:36:41 | そこはちゃんと書いてもらえませんか。   |
| 1:36:47 | はい、ホールディングの浜田です。   |
| 1:36:49 | 趣旨理解しましたのでそこら辺のまず本題の規制の充実させまして、そういうものがしっかりなくなっているということで、端部としているところをしっかり書き込みたいと思います。以上です。               |



|         |   |
|---------|---|
| 1:37:04 | あと規制庁タニですけれどもついでについでにじゃないですけど 80 ページの   |
| 1:37:09 | 広がってるんで、これ旧汀線高度左側を書いてるんですけど、これもうちょっと北まで書くとか、これここ行為になると思うデータはないんですよ。フレームのハマダですけども、音声ちょっと廃棄を得なくなりましたけども、タニですけど、聞こえますか。      |
| 1:37:29 | タニです。はい。聴こえ聞こえますはいお願いします 80 ページで、一番左に急点線行動を示していただいているんですけど、これもうちょっと北までのデータがないのかというのと、やっぱり高位段丘になると。                        |
| 1:37:45 | あれなんですかね、データの信頼性っていうのがないんですかね、高位段丘の旧汀線とかも落とそうと思ったら落とせるのであれば、データ入れていただけたら。   |
| 1:37:58 | 我々もデータ見ますけど、その辺どうでしょうか。   |
| 1:38:06 | 北陸電力の小林です。今まずちゅうに関しては、もう少し北のほう、敷地のほうにもデータがありますので、そういうところを追加できますし、こうに関しても、これ等々の情報をもとに旧汀線                                   |
| 1:38:24 | プロットすることができると思いますので、ちょっとその辺は追加できるように検討したいと思います。はい、お願いします。多分こういうのを見るときにはですねある程度広い範囲で傾向もあわせて見ないと何とも言えないのかなと思いますので、お願いいたします。 |
| 1:38:48 | 規制庁のスガヤです。58 ページをお願いします。  |
| 1:38:56 | 福浦断層のこれ地形断面図が下のほうに二つ書いてあって、AとBの断面が書いてあるんですけども、  |
| 1:39:05 | これあの南側のほうを何か確認できる資料ってどっかに載ってたりしましたでしょうか。  |
| 1:39:23 | オリンピックの小林です。今ちょっと現状南のほうの断面がありませんので、ちょっと   |
| 1:39:31 | 作るか何かしてつけるようにしたいと思います。  |
| 1:39:35 | 以上です。   |
| 1:39:36 | 規制庁のスガヤですはいお願いします。対極的な傾向を把握する意味でも、今南のほうは緑と青のあれですよ、LCのランクとLDのランクですかね そういったところ、   |
| 1:39:51 | にも横切るようなものとか、   |
| 1:39:54 | 端部の辺りとか、そこら辺は考慮していただいていたほうがだめがあったほうが大局的な傾向つかめるとと思いますので、お願いします。  |
| 1:40:08 | はい、小林です。承知いたしました。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:40:14 | 規制庁単にそのあと確認なんですけど、この北端と南端のこの表土はぎって<br>いうのは、現地の方が残ってるんです。   |
| 1:40:22 | っていう、  |
| 1:40:23 | 多分今までも説明聞いてるような気がするんですけど。  |
| 1:40:30 | 北陸電力キムラです。北端と南端の表土はぎにつきましては、今現地は残っ<br>ておりませんで埋まった状態となっております。   |
| 1:40:42 | これ見ますと、ここにある例えば表土はぎのこう断層幾つか見つけているんで<br>すけど、そういったものを見ようと思ったら見れるんですか。  |
| 1:40:57 | 全面ハグのはさすがに無理だけどスポット的に確認とかってできるんですか。  |
| 1:41:29 | 規制庁タニ推移今答えなくていいですそのうち確認しておいていただけたらと<br>思います。   |
| 1:41:39 | ホールディングの原です。わかりました。また確認しておきます。   |
| 1:41:44 | 以上です。  |
| 1:41:48 | 規制庁タニです。ちょっとさっきの僕何回か前のやりとりの中で説明があったと<br>きに、64 ページのところのここ福浦断層等ひよっとしたら副断層みたいなもの<br>かもしれないという   |
| 1:42:03 | ここは何かタニのほうに移行リニアメントのようなものがあるっていうような説<br>明があったと思うんですけど、これはよく見たらリニアメントが見えるっていう話<br>なんですけどそれともここはリニアメントとして判読すべきようなものはないん<br>ですか。どっちなんです |
| 1:42:20 | 不明瞭だけど見えるのか、それとも全く見えないのか。  |
| 1:42:31 | 北陸電力のノハラです。  |
| 1:42:33 | 我々最初に空中写真判読したときには込む。   |
| 1:42:38 | 以浅につきましてはリズムで変動地形ではないと   |
| 1:42:43 | そういうふうに判断しておりましたが、今回トレンチを掘って表題とかでも出て<br>きたんでしたので、  |
| 1:42:53 | やっぱこれもまとまったリニアメント変動地形、   |
| 1:42:57 | 曰しますがあると、そういうふうに判断しております。  |
| 1:43:04 | 以上です。  |
| 1:43:10 | 資料でどうどうどうする高齢なんですけど、すごくこそういう目で見ると、   |
| 1:43:17 | 何らかのものが見分けができるっていうのがこの辺りの断層があるところとな<br>いところの違いっていうふうに  |
| 1:43:25 | 考えていいですか。  |
| 1:43:28 | はい。ホールディングのノハラです。そういうふうに考えまして、しております。  |
| 1:43:35 | 始まったんです。リリース確認できました。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:43:52 | 規制庁タニです。あとですね、これは資料の認めのお願ってということなんですけど、88 ページで重力異常で。   |
| 1:44:02 | 水平一次微分図っていうのを、   |
| 1:44:06 | 載っけていただいて、これあれなんですよ。   |
| 1:44:10 | 109 ページで時側なんかの断層乗っけていただいているんですけど、ちょっとこの辺り、この縮尺もこの縮尺でいいのかもしれないんですけど、もうちょっと大局的に持つ広い範囲で、                            |
| 1:44:23 | 示したらどうなるのかっていうのも確認したいので、   |
| 1:44:27 | ぜひするもうちょっと低い広範囲の   |
| 1:44:31 | データも、  |
| 1:44:32 | 続けていただけます。   |
| 1:44:36 | 北陸電力の石田です。   |
| 1:44:38 | 以上、35 ページのほうにある程度広範囲の図もつけさせていただいてはいるのですけれども、ちょっとこれだと広すぎるということであれば、この 35 ページと 88 ページの間当たりの広さのものをつけさせていただきたいと思います。 |
| 1:44:56 | 以上です。規制庁タニです。そうですねちょっと 35 ページを広すぎるかなと思って、  |
| 1:45:01 | 簿の袋もそんな時かはですね特にちょっと  |
| 1:45:06 | もうちょっと広い範囲でみたいってというのはですね。  |
| 1:45:09 | その辺をお願いいたします。  |
| 1:45:18 | 北陸電カインダです。わかりました。  |
| 1:45:51 | 規制庁のカイダです。ちょっと   |
| 1:45:53 | 今福浦の方で確認させていただいたんですけど、時側のほうも先ほどちょっと冒頭で、  |
| 1:46:02 | の話があったんですけど、これも改めて確認させてください。   |
| 1:46:07 | 97 ページの説明で変更点。   |
| 1:46:13 | これからまた改めて整理はされると思うんですけども、  |
| 1:46:18 | ちょっとその説明の中でわからなかったところがありまして、   |
| 1:46:24 | えっと段丘面とかが両方ないからってという話で評価が変わって、   |
| 1:46:33 | 単純にこれ見るとこのピンクの 1、  |
| 1:46:38 | ここ高位面は割とあるような気がするんですけども、   |
| 1:46:43 | 高位面はこれ確実性に欠けるって書いてあって※2 で、   |
| 1:46:49 | 次のページとか書いてあって、   |
| 1:46:53 | 補足説明資料にその辺が書いてあるってという説明があります。  |
| 1:46:58 | で、   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:46:59 | それを見るとこの。  |
| 1:47:02 | 海沿いのこの青く青色になった段丘面の話は出てくるんですけども、  |
| 1:47:08 | 管理のリニアメントを挟んでこう分布してそうな   |
| 1:47:12 | この茶色とかピンクの   |
| 1:47:15 | 辺りの説明っていうのは、   |
| 1:47:17 | どこにもないんですけども、これの高度っていうのは、  |
| 1:47:21 | 特に企画とかはしていないということでもいいんですが、中位面を中心に見てこういう面はあまり信頼性がないからこういう面では評価しないというそういう御説明なんですかね。                              |
| 1:47:36 | はい、北陸電力のノハラです。   |
| 1:47:38 | 同会社さんおっしゃったようにあの基準、7ページの断層の南側見ますと、ピンクで示します高位段丘4面ですとか、そのさらに上の面でありますオレンジで赤で示します高位段丘5面が分布しております。                  |
| 1:47:53 | ただこの断層の南側につきましては、  |
| 1:47:56 | それより新しい時代の面と高位段丘Ⅲ面Ⅱ面1面と中位段丘Ⅰ面、こういったものが分布しないので  |
| 1:48:05 | 時代間時にそういう  |
| 1:48:08 | 新しいものから順番に追跡をしていきますと、そういった段丘面の連続性でこれだけ読むんですとか部門の時台車というものを我々評価しております。   |
| 1:48:20 | そういった意味でこの断層の南側につきましては、そういう電気4年度が分布しておりますが、それより低いわかり3画面というのは分布していないと、そういうことから、このこれだけ4年後面の時代感というものに不確実不確実性があると。 |
| 1:48:36 | そういったように評価をしております。   |
| 1:48:39 | 以上です。  |
| 1:48:43 | 規制庁の改善、  |
| 1:48:46 | その辺はそういう御説明だということは、  |
| 1:48:50 | そちらのお考えは、  |
| 1:48:53 | まあそういうことかなと思ったんですが、  |
| 1:48:57 | そうすると最初のほうにもあったんですけどこの辺り全体の段丘面の分布がどうなってるかっていう話とここから入って言って言ってもやっぱり  |
| 1:49:08 | ここの4面ごめんっていうのを比較っていうのはなかなか難しいということで、   |
| 1:49:13 | そこはなかなかそこでは判断できないから。   |
| 1:49:17 | 今回評価を変えるといたったそういったことでですかね。   |
| 1:49:26 | 北陸電力フジタです後半部分をちょっと今聞き取れなかったのもう一度、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:49:32 | 最後のほうだけ発言をお願いしたいんですか。はい、すいません、全体の   |
| 1:49:39 | 全体のこの能登半島全体の段丘面分布っていうのは当然、  |
| 1:49:44 | 最初の辺で整理されているので、そこにはしっかりこういろいろ書いてあって、  |
| 1:49:49 | それなりに信頼性のあるものかなと思ってたんですけど、  |
| 1:49:53 | この部分にこの部分については、結構そういった不確実性があるから、  |
| 1:50:00 | なので、もうここは、  |
| 1:50:02 | 評価を変えて中位面がないから。   |
| 1:50:05 | 時側断層があるというふうに評価を変えたというふうな目にはもう頼りないっ<br>ていうふうなここに書いてあるんですけどもそういった  |
| 1:50:14 | 経緯があるっていうことで、   |
| 1:50:17 | でよろしいですねっていうことです。   |
| 1:50:23 | はい。不連続ノハラです。  |
| 1:50:25 | 中位段丘 I 面ですとかこういう段丘 I 面に向けての比較的若い時代の段丘<br>面につきましては、担当全体に分布しております、それから分布ですとかと<br>いうものは正確に把握しております。        |
| 1:50:41 | ただ一方で、こういった行為だけ 4 番ですとかごみといいますのは、和解材の<br>面から連続性によって確実度が   |
| 1:50:50 | 確実度が高くて使える場所とイマムラと切り離さの南側に確実性が高くないと<br>ころと、そういったところが  |
| 1:51:00 | いろいろなものってあると、そういうふうな認識をしております。以上です。   |
| 1:51:07 | はい、わかりましたじゃちょっとその書きぶりもその今箱書きも何かあたか<br>も解析の程度が著しいから確実性に欠けるっていうことしか書いてないんです<br>けれども、今の説明はちょっと違うかなと思いますので、 |
| 1:51:23 | その辺りも含めた上で書いていただかないと、ちょっと説明が 4 面 5 面がある<br>じゃないかというふうにはぱっと見て、   |
| 1:51:32 | いうふうに思いますので、ちゃんとそこは記載していただけないんですけど<br>も、よろしいですか。  |
| 1:51:41 | それでもノハラです。承知いたしました。   |
| 1:51:44 | 以上です。   |
| 1:51:48 | 規制庁タニです。  |
| 1:51:51 | さっきの袋と似たような話なんですけど、91 ページって。  |
| 1:51:57 | これ  |
| 1:51:59 | 北陸電力の方でリニアメントとして判読している範囲よりも、  |
| 1:52:06 | もうちょっと長い区間に、  |
| 1:52:10 | この今泉ほかっていうのは、リニアメントを認定してて、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:52:16 | でもこれも同じように水系の屈曲って、  |
| 1:52:19 | いうふうに認めてるんですけど、この辺は御社は、   |
| 1:52:25 | 水系の屈曲リニアメントとして引くような   |
| 1:52:28 | 水系の屈曲がないっていう評価なんですかね。   |
| 1:52:35 | 連絡のノハラです。   |
| 1:52:37 | 基準のページに   |
| 1:52:41 | 当社のほうの  |
| 1:52:43 | 判読理由を記載しておりまして、当社としましては、この今泉書いてありますよ<br>うな水系の屈曲判読しておりません。   |
| 1:52:52 | 以上です。うん。規制庁タニです。判読していませんっていうのは、   |
| 1:52:58 | なんて言うんですかねそもそもの判読基準、  |
| 1:53:01 | で、そういうのを判読していないっていう話なのか、いやいや、ここは水系の屈<br>曲あったら当然雪と拾われるんだと思うんですけど当然拾うんだけど、ここ<br>今泉ほかっていうのは控えてるこの水系の屈曲を水系の屈曲じゃないんだっ<br>ていう話なんです。     |
| 1:53:20 | その辺ちょっと。  |
| 1:53:22 | 僕はこれ見てて同じような地形図を見ててどうしてその辺が大分評価が変わ<br>るのかなっていうのを気になって確認しているんですけど。   |
| 1:53:34 | 北陸電力の小林です。我々も判読の解釈としましては、今水系の屈曲として<br>読まれているところは、   |
| 1:53:44 | 必ずしもこう系統的な全部右ずれの契約局として読めるものではないというふ<br>うに判断しております。  |
| 1:53:54 | 以上です。   |
| 1:53:58 | 規制庁タニです。その辺のところですね、ちゃんと細かく説明していただきたい<br>し、例えばさっきの福浦断層でよく見れば実は何かあるんじゃないのかとかと<br>いう話も、こういうこういったところでよく見たときにどうなのかなっていうのとか<br>もちゃんとですね |
| 1:54:17 | 考えて詳しくもうちょっと詳しく説明していただきたいと  |
| 1:54:25 | 軟骨あれなんですよね、9、時側難関断層に関しては、じゃあ、北端どうやって<br>決めてますかっていう  |
| 1:54:34 | 資料が福浦断層ほどではなくって、ただ単に、   |
| 1:54:41 | リニアメント、   |
| 1:54:44 | リニアメントですね、リニアメントの汎用。  |
| 1:54:48 | 班員にしていますっていう話ですよ。   |
| 1:54:52 | これって  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:54:54 | 同じように、リニアメントって何なんですかと。  |
| 1:54:59 | いうのをちゃんとわかるようにしてください御社の言われているリニアメントは<br>どういうものがここまであるってしてて、ここからはないんだっていうのが何に<br>基づいてないって言ってるのかっていうのがわかるようにしていただきたい。 |
| 1:55:22 | あとはですね同じく南端の話になってくると。   |
| 1:55:26 | 南端どこでしたっけ音波探査の  |
| 1:55:31 | 108 ページですか。   |
| 1:55:34 | この 108 ページって、この海でもわからなくて、南端の音波探査のところまで<br>っていう。   |
| 1:55:44 | 説明だと思うんですけど。  |
| 1:55:48 | そうですね。  |
| 1:55:50 | これってもっと測線ないんですが、一つの測線だけで、   |
| 1:55:55 | 行灯  |
| 1:55:57 | しているんですか。そうじゃなくて幾つかの測線を   |
| 1:56:02 | 見て判断しているんだっていう話だったら、ちょっとその旨を書いて欲しい。   |
| 1:56:07 | 或いはこれってもう陸側には   |
| 1:56:11 | 伸びてないんですよねここが一番陸側のところまである測線ということで理解<br>していいですかその辺ちょっと説明をお願いします。   |
| 1:56:21 | 北陸電力の石田です。  |
| 1:56:23 | 海上音波探査の結果につきましては、No.6.75 という測線というものがトリガ何<br>断層の南方延長の一番近い測線になってございます。  |
| 1:56:35 | さらに、  |
| 1:56:37 | 奥ですね。   |
| 1:56:38 | さらに多くの測線についても、断層がないということは確認していますので、そ<br>れにつきましても、加筆させていただきたいと思っていますし、   |
| 1:56:49 | 実際その検討につきましては、  |
| 1:56:54 | 138 ページですかね、138 ページの  |
| 1:56:59 | トリガーは何が 4 層から兜岩沖断層間のITの地質構造調査としてはその間に<br>断層の存在しないということもつけさせて付けさせていただいてます。   |
| 1:57:11 | でも、少なくとも複数の御田んでないということを確認していますので、トリガー<br>は何か断層の個別説明のほうにもそれは追加させていただきたいと思いま<br>す。以上です。                               |
| 1:57:23 | はい、お願いしたいんですけど、私もこの辺ちょっと繋がってなかったんですけ<br>ど、108 ページのこの南部 6.75 いうのをここに   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:57:37 | なんて言うんですが、近いところの、ここより次に近いところって言ったら、もうこの 137 ページの次の側線まで飛ぶってことなんです。何かここ充足していくつか測線とったりとかそういうことをしてないんですかね。 |
| 1:58:00 | すみませんせ質問がですね 137 ページは近いほうから、こういうときが湾岸断層レンズの連続見れるような測線は近い方からもちゃんと順番に並んで並んでいるっていいですか。                    |
| 1:58:16 | はいその通りです。わかりましたじゃ  |
| 1:58:21 | この辺を見れば、私も確認できるので、ただ   |
| 1:58:25 | 判断はどうしているかっていうのは複数の測線見ているのかを見てないのかってことは、   |
| 1:58:30 | 記載していただけたらと思います。   |
| 1:58:34 | 北陸電力CIS承知しました。   |
| 1:58:37 | すみません、今の 138 ページとか 137 ページの  |
| 1:58:45 | 全然検討をなんですけれども、   |
| 1:58:49 | あれなんですよね時が段積み何が南のほうに伸びていくっていう、   |
| 1:58:55 | 何か前提でふうになんぼの東西測線をずっと並べて、   |
| 1:59:01 | 検討されてますけれども、   |
| 1:59:04 | 素直に降雨みんな下にまっすぐこう突っ込んでいけばひょっとしたら  |
| 1:59:09 | 6.75。  |
| 1:59:11 | いうですか、12 のそれをすり抜けて何かその北歐州といくようにも、  |
| 1:59:18 | ふうにもなるので、  |
| 1:59:20 | 例えば 138 ページの測線図とかを見ると、   |
| 1:59:24 | 南北にこう延びてる。   |
| 1:59:27 | No.108 とかですかね。   |
| 1:59:30 | そういったところにもないんであればちゃんとここで示していただいて、  |
| 1:59:35 | ° 海に入ってるものをどっちにいても抜けないんだっていうのがわかるようにそこもあわせて、   |
| 1:59:42 | 示していただきたいんですけどこの南北の測線でもないっていうのは確認されてるんですかね、508 ってことなんですか。  |
| 1:59:53 | 北陸電力 1 社です。  |
| 1:59:55 | 確か 238 ページは模擬湾岸から兜岩の連続性の検討ということで、この東西測線を主に添付させていただいてますけれども、一応データ集のほうには、今先ほどカイダさんがおっしゃったなんぼ。            |



|         |   |
|---------|---|
| 2:00:10 | 南北測線につきましても添付していきまして、断層がないことを確認しております。これについてもたしかにが湾岸断層が海側に連続しないということの証拠になりますので、これにつきましても、本資料の方。 |
| 2:00:25 | に持ってきまして、108 ページのところにお付けしたいと思います。以上です。  |
| 2:00:33 | そうですね。すり抜けていかないようにちゃんとその南北のやつも、この本編のほうで   |
| 2:00:42 | つけていただいてそこを説明をしていただきたいので、別途そこはよろしく願います。   |
| 2:01:25 | 規制庁のスガヤですけれども、92 ページをお願いします。  |
| 2:01:33 | 先ほど福浦のときもちょっと私言ったんですけど、時側の場合だとここが調査のページになっているんですけど、断面図地形断面図が一応あったほうがいいかなと思いますので、                |
| 2:01:48 | 何本かこういったものが、  |
| 2:01:51 | 載っているといいかなと思いますので、お願いします。   |
| 2:01:56 | 北陸電力のコバヤシつ承知いたしました地形断面増へつけるようにしたいと思います。   |
| 2:02:05 | はい。規制庁スガヤですお願いします。  |
| 2:02:33 | 規制庁タニですけれど、先ほどどんな何名かでちょっと確認したんですけど、やっぱり北と南の根拠、何を根拠にして止めを  |
| 2:02:44 | 決めてるのかっていうのはですね、ちゃんと資料でわかるようにしっかりと説明していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。                                |
| 2:02:55 | はい。だけど濃度です。承知いたしました。  |
| 2:03:03 | あとここもあれですね、袋のときに言いましたけど、何を何リニアメントと呼んでるのかっていうこ空中写真なり何なりでちゃんと説明していただきたいと。                         |
| 2:03:15 | 思いますので、このエビデンスですね、判断している。   |
| 2:03:18 | お願いいたします。   |
| 2:03:23 | ハマダです。承知いたしました。   |
| 2:03:30 | それを規制庁タニです。あとはですね、もう時間もなくなってきたんで、幾つかの絞って私の方からも確認します。  |
| 2:03:40 | これ上の音波探査で私これよくよく  |
| 2:03:44 | ここ読んでみて、改めてちょっと確認させていただきたいんですけど。  |
| 2:03:49 | 書いてどこ、  |
| 2:03:53 | この判断としてですね。   |
| 2:03:57 | B1 位、例えば、例えば、例えば 129 ページとかで、これ兎岩沖断層の活動性なんですけど。  |

|         |   |
|---------|---|
| 2:04:07 | b値っていう  |
| 2:04:11 | 地層はBPLとBUに分けてで、これを見てみると、BEPUには断層活動が認められないんだけど、BPLに変形の可能性が否定できない。                                  |
| 2:04:27 | って言うつもりはB1Nが変位変形があればもうこれは   |
| 2:04:36 | 活動性否定できないというふうな判断をしているっていうこといいですかね、B1、  |
| 2:04:42 | Lに変形があればもう  |
| 2:04:44 | これは活動性があるっていう否定できないということで評価してるってことですか。  |
| 2:04:50 | 北陸電力1社です。タニさんおっしゃった通りで、技術L2円変形の可能性が否定できない場合は活動性が否定できないということにしております。                               |
| 2:05:01 | その時代のちょっとした錯誤につきましては、124カードでしたら124ページの  |
| 2:05:08 | 2丸目をちょっと御説明させていただいてますけれども、  |
| 2:05:14 | 本来我々の地質層序的な考え方而言えば、Dは郵送飛び火はN層の境界が後期更新世の境界として対応すると考えているんですけど、Bは輸入に関しましては、その年齢見絶対年代を特定できるようなものが、    |
| 2:05:31 | 検出できなかったということで、今回といった年代特定できているBはN層を使って変形の可能性を   |
| 2:05:41 | 活動性を評価しているということになります。ですので、おっしゃったようにBはN層に変位変形の可能性が否定できない場合は活動性を評価しているという評価にしております。以上です。            |
| 2:05:54 | はい、ありがとうございます。  |
| 2:05:56 | わかりました。考え方でそうなったときに、例えば133ページとかって、  |
| 2:06:04 | こうこうこういうのは、133ページのですね、兜岩沖断層延長部っていうのがあって、この延長部のところ、ここは断層認定してないところなんですけれども、                         |
| 2:06:16 | この延長部、  |
| 2:06:18 | 付近で、B1、Lの項地層の厚みがぐっとう知事、   |
| 2:06:26 | 東側で薄くなると同じような要するにBPLの固化面っていうのがぐっとうたたわんでるような形をしているわけなんですけど、こういったものは変位変形っていうふうにはとらえていないんですか。        |
| 2:06:43 | 北陸電力1社です。このNo.9.25s測線につきましては、今タニさんおっしゃっているように、パビリオンN層、またB、II層の基底がジャパン間たわんでるようにも見えるんですけど、当社としましては、 |
| 2:06:58 | この美術外Pはn層のたわみの度合いを見ますと、ビーマN層のがやや週で、美術その規定のほう若干緩やかだと。  |

|         |  |
|---------|--|
| 2:07:08 | ということで、いわゆる変位の累積性を見ますと、Bは  |
| 2:07:14 | N層の、その累積の関係が合わないということで、こちらは変形ではなくて、侵食によるものだというふうに判断しまして、   |
| 2:07:25 | 断層活動ではないというふうに判断しております。以上です。   |
| 2:07:30 | 規制庁タニです。つまり、今の説明聞くと、多分出るようには見えていると思う。これ北陸電力もこれはたわんでるように見えるんだというのは三つお認めになって、だけでも、あれですね。               |
| 2:07:44 | 累積性が   |
| 2:07:47 | ちょっと本来ならば、オレンジ色の線のお客ももっと多分べきなのにそうならないから、これは断層じゃないっていう判断をしているっていう                                     |
| 2:07:57 | ということなんですかね、年度もしそうなら、  |
| 2:08:01 | やっぱりそれは説明が   |
| 2:08:03 | いるんじゃないかと思しますので、   |
| 2:08:07 | これこれこうその考えがいいか悪いかとか私はちょっと今言いませんけど、説明は必要かなと思ってますのでよろしく願いいたします。  |
| 2:08:17 | 北陸電力1社です加筆させていただきます。以上です。  |
| 2:09:47 | 規制庁タニですけど、もう時間も過ぎてますので、多分細かいことの確認とかは、それぞれもっとしたいことあるんでしょうけど   |
| 2:09:57 | これで1回ヒアリングをろうと思えますけども、何か北陸電力からありますか。   |
| 2:10:05 | 大きく全カフジタです。こちらのほうから確認事項等は特にございません。今いろいろ確認いただいた事項については、   |
| 2:10:13 | 次回のヒアリング等にまた対応させていただきたいと思えます。以上です。   |
| 2:10:18 | はい、規制庁タニです。この資料全体のなんていうんですかね、論理構成みたいなのもちゃんと考えて作っていただくっていうことなので、どうですかね結構時間かかるんですか。                    |
| 2:10:38 | 北陸電力フジタです。木目少し今回グレーの御説明していなかった部分についても並行して作業もやっているところですので、具体的に参照とかその辺も一緒に入れるとかですね、近傍の他の断層のデータもありますんで。 |
| 2:10:53 | この別には、   |
| 2:10:56 | データそろえてめどが立ち次第、またヒアリングの申し込みをさせていただきたいというふうに思ってます。  |
| 2:11:03 | はい、わかりました。それではよろしく願いいたします。   |
| 2:11:07 | 以上でいいですかね。   |
| 2:11:10 | はい。  |
| 2:11:11 | こちらのほうは以上でございます。   |

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 2:11:14 | はい。それではヒアリング降りたいと思います。お疲れ様でした。 |
| 2:11:20 | ありがとうございました。                   |